

こども都庁モニター 令和6年度第1回アンケート結果



調査実施の概要

1 アンケートテーマ

① スポーツ	P4
② 自転車の安全利用	P15
③ 学童クラブ	P27
④ 海の森公園利活用	P36
⑤ 救急受診ガイド	P45
⑥ 広報東京都こども版	P53

2 アンケート目的

都政への関心が高い 小学生・中学生・高校生や未就学児の保護者から、意見やアイデアを継続的に集め、子供の意見を都政に取り入れていくことを目的とする。

3 アンケート期間

令和6年6月22 日(土曜日)から7月1日(月曜日)まで

4 アンケート方法

インターネットを通じて、モニターがアンケート専用ホームページから回答を入力する。

5 モニター数

1,204 人

6 回答者数

1,168 人

7 回答率

97.0%

※小学生向けのアンケートでは漢字へのふりがなや言葉の言い換えなど、わかりやすい言葉に変えてアンケートを実施しております。

※自由記述回答は原文のまま掲載しております。

		モニター 人数	回答		
			人数	構成比	率
全体		1,204	1,168	100.0%	97.0%
性別	男性	601	578	49.5%	96.2%
	女性	599	586	50.2%	97.8%
	その他	4	4	0.3%	100.0%
年代別	0-2歳保護者	202	197	16.9%	97.5%
	3-5歳保護者	200	198	17.0%	99.0%
	小学校低学年	200	197	16.9%	98.5%
	小学校高学年	201	195	16.7%	97.0%
	中学生	201	188	16.1%	93.5%
	高校生	200	193	16.5%	96.5%
居住地域別	東京都区部	804	779	66.7%	96.9%
	東京都市町村部	400	389	33.3%	97.3%

※ 集計結果は百分率(%)で示し、小数点以下第2位を四捨五入して算出した。そのため、合計が100.0%にならないものがある。

※ n(number of cases)は、比率算出の基数であり、100%が何人の回答者に相当するかを示す。

※ 複数回答方法・・・(MA)=いくつでも選択、(3MA)=3つまで選択、(2MA)=2つまで選択

※ 「高校生」には、高校生相当年齢(15～18 歳)の子供を含む。

ス ポ ー ツ

(対象：未就学児保護者・小学校低学年・小学校高学年・中高生)

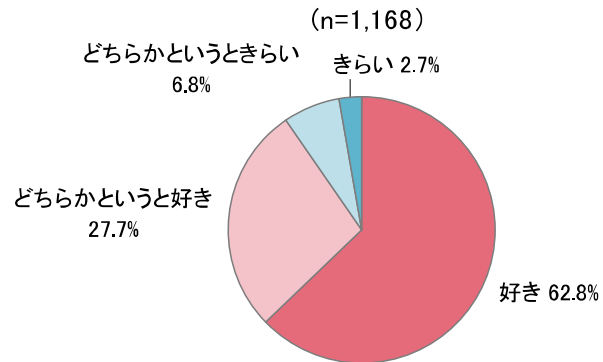
東京都はスポーツを好きと感じる子供を増やす取り組みを進めています。
一人ひとりの好みや特性に合った、スポーツの楽しさや魅力を実感できる環境や仕組みづくりをするために、みなさんの意見を聞かせてください。

【 調 査 項 目 】

- 問1 スポーツが好きかどうか
- 問2 【小学校低学年・小学校高学年・中高生のみ】
 今よりもスポーツが好きになれる機会や環境
- 問3 できるようになりたい(上手になりたい)スポーツ
- 問4 スポーツ・レクリエーションの認知度、やってみたいか
- 問5 【未就学児保護者のみ】
 子供とスポーツの関係で困っていること

スポーツが好きかどうか

問1 スポーツをすることが好きですか？

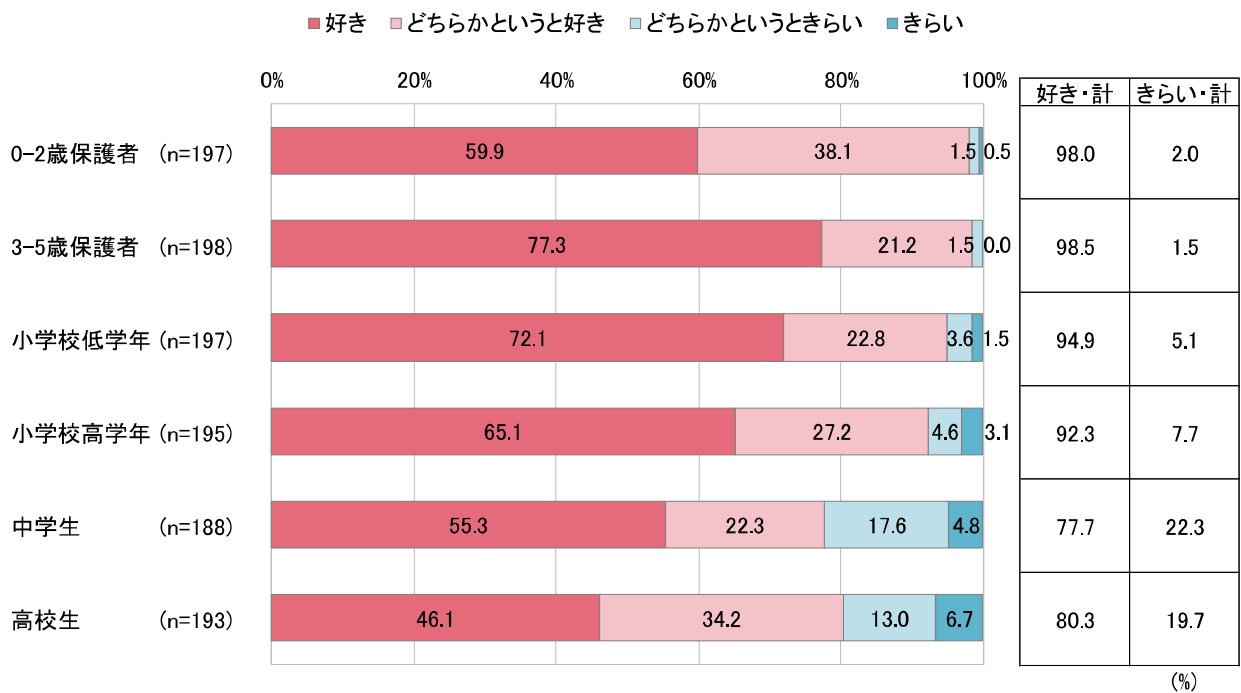


【調査結果の要約】

「好き」(62.8%)が最も高く、「どちらかというときらい」(27.7%)とあわせて、90.4%が“好き”であると回答。

「嫌い」(2.7%)、「どちらかというときらい」(6.8%)をあわせた“嫌い”は9.6%。

【年代別回答結果】

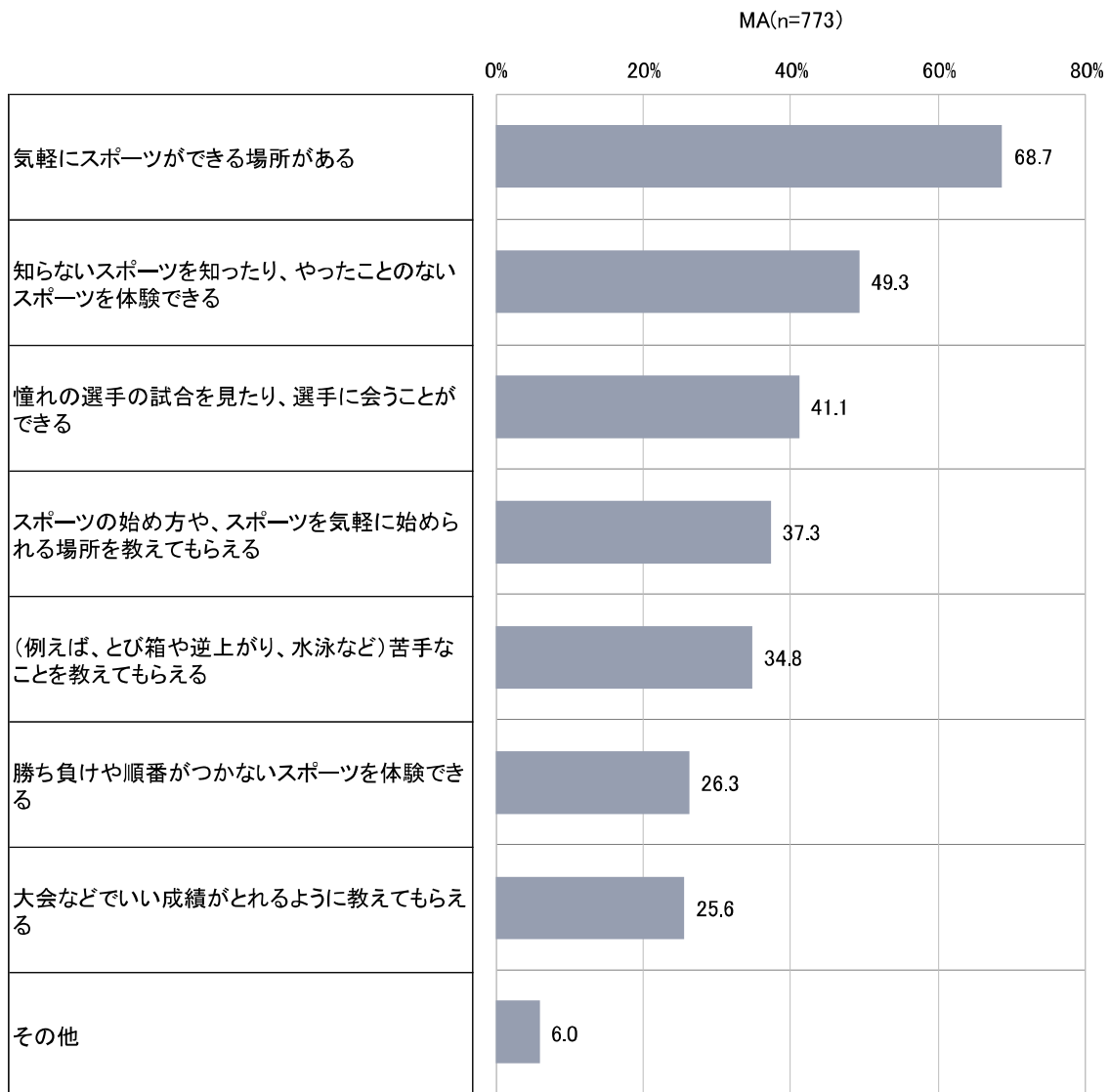


今よりもスポーツが好きになれる機会や環境

問2 どのような機会や環境があると、今よりもスポーツが好きになるとおもいますか？

あてはまるものをいくつでも選んでください。

(対象：小学校低学年・小学校高学年・中高生)



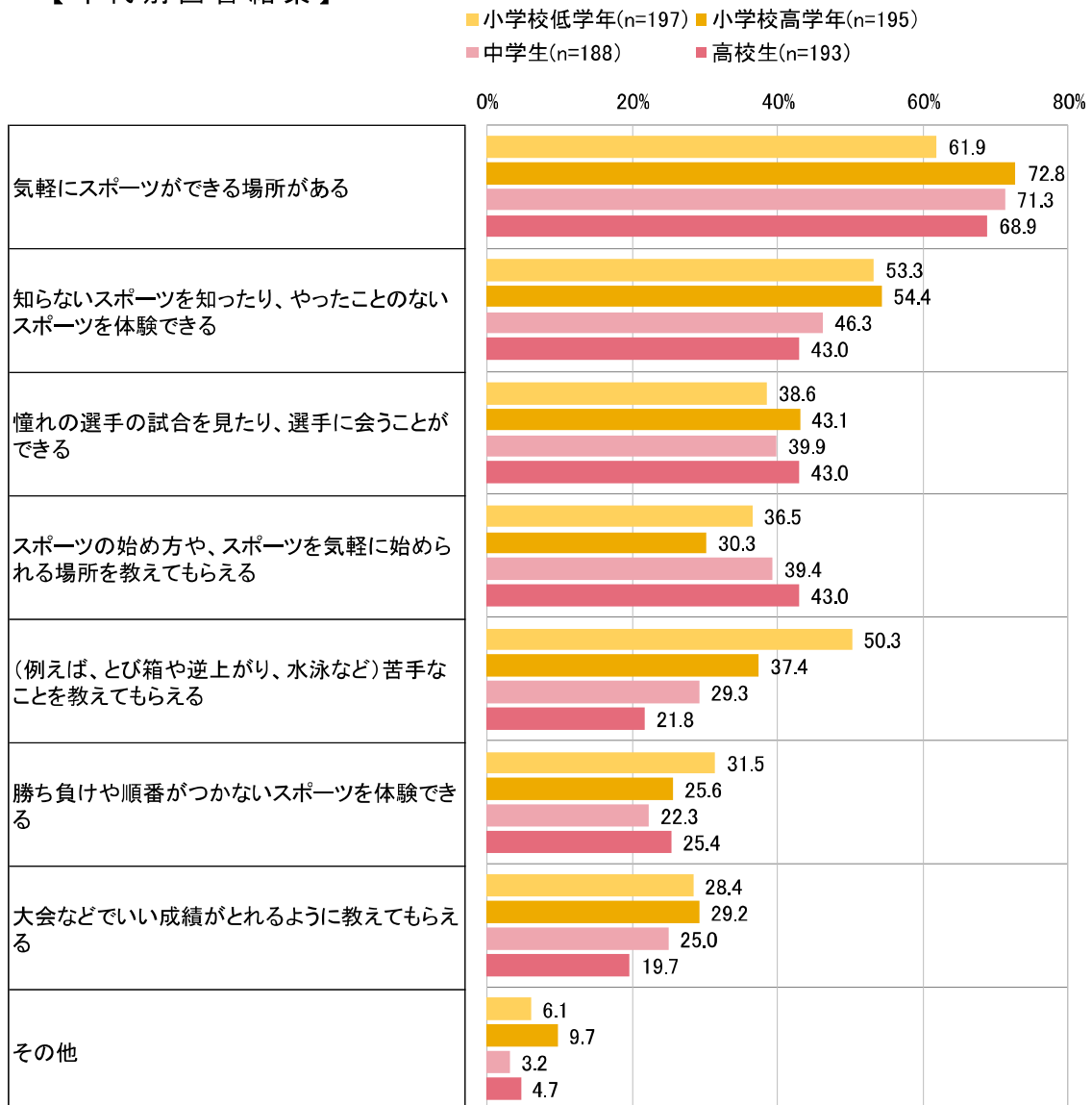
【調査結果の要約】

「気軽にスポーツができる場所がある」(68.7%)が最も高く、以下、「知らないスポーツを知ったり、やったことのないスポーツを体験できる」(49.3%)、「憧れの選手の試合を見たり、選手に会うことができる」(41.1%)などと続いている。

【その他の主なご意見】

- ・ スポーツ嫌いの子どもでも楽しくできるスポーツをできるところ
(小学校低学年 男性 世田谷区)
- ・ 参加できるイベントがあるともう一度そのスポーツをやりたくなる
(小学校低学年 男性 杉並区)
- ・ 親子で安心して参加できる(小学校高学年 女性 杉並区)
- ・ 公園でボール遊びや自転車など、色々なことを禁止されないこと。大人が自分達が子供だった時のことを思いだして、子供に優しい社会にしてほしい。
(小学校高学年 女性 練馬区)

【年代別回答結果】

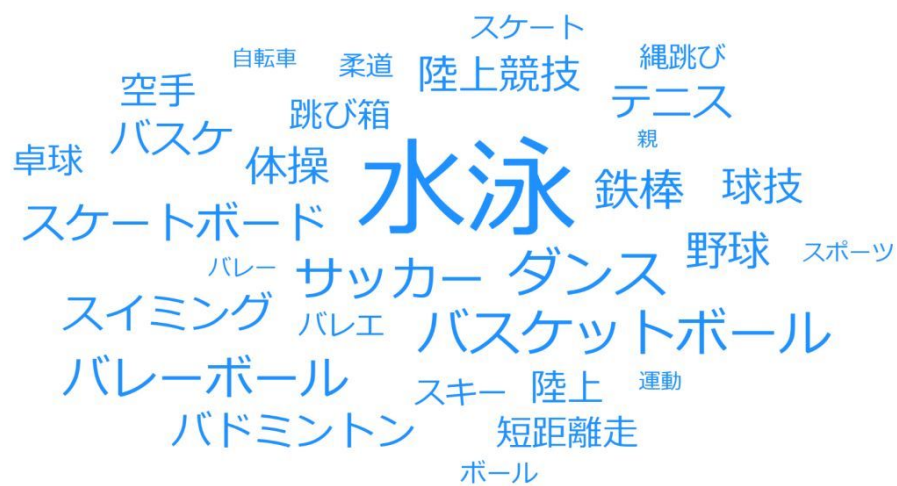


できるようになりたい(上手になりたい)スポーツ

問3 できるようになりたい(上手になりたい)スポーツはありますか？
100文字以内でいくつでも書いてください。

【調査結果の要約】

水泳、ダンス、球技が多く挙げられ、体操や陸上競技も人気がうかがえる。



アンケートの回答内容をAIがまとめました。
回答が多い単語ほど文字が大きく表示されます。

【自由回答抜粋】

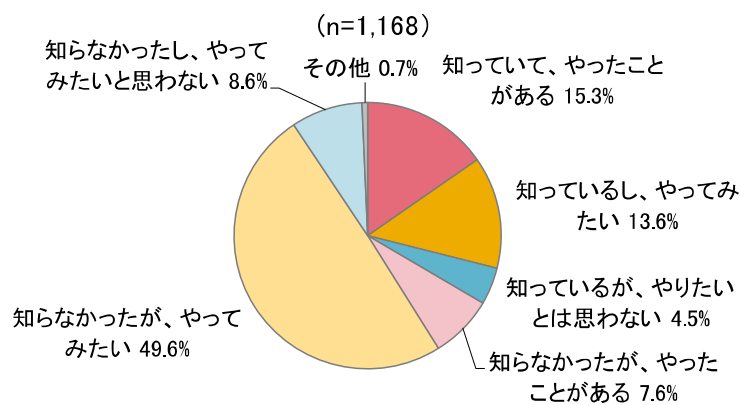
- ・柔道で受け身を取れるようになったり体操で柔軟性を習得した後、サッカーなどチームワークが学べる様なスポーツができる様になって欲しい
(0-2歳保護者 男性 江東区)
- ・体幹をうまく発達してほしい。そのようなスポーツなら何でもいいかなと。生涯自分の体にまつわるものだから。または身近なスポーツで柔道があり、出来るようになったらいいなと思っている。(0-2歳保護者 女性 世田谷区)
- ・子どもにできるようになってほしいことは水泳。子どもがプールで泳ぐことが苦手なため克服してほしい。子ども自身ができるようになりたいと思っているのは体操。近所の体操教室はどこも激戦で空きがありません。(3-5歳保護者 男性 文京区)
- ・親としては、走る事、球技、水泳など運動能力は身につけて欲しいです。特に水泳は、水害から命を守るためにも小学校の水泳授業もあるので、4泳法は習得してほしいです。子供本人は、バスケットボールが好きなので、小学生になったらバスケットボールをやりたいと話しています。今は水泳を週3回頑張っていて、早く4泳法を習得したいと言っています。(3-5歳保護者 女性 練馬区)
- ・スイミング、ドッジボール、ゴルフ、バスケットボール、サッカー、逆立ち、ブリッジ回転、縄跳び、鉄棒、キャッチボール、野球、ソフトボール
(小学校低学年 男性 大田区)
- ・サッカー、バスケ、ドッジボール、水泳、ラグビー、ゴルフ、空手、アイスホッケー、アイススケート、スキー、野球、バドミントン、テニス
(小学校低学年 女性 世田谷区)
- ・ムエタイ、少林寺、骨法、柔道、剣道、弓道、ブラジリアン柔術、ボーリング、スノーボード(小学校高学年 男性 八王子市)
- ・サッカー、(友達とみんなで遊びたいから)野球(友達と遊びたいから)水泳(プールの授業でもっと動きたいから)スケートボード、(下級生の子に教えてあげたいから)。
(小学校高学年 女性 江戸川区)
- ・僕は、バドミントンが上手になりたいです。なぜなら、小学生の頃にクラブでバドミントンをやっていて、すごく楽しく感じ、運動神経が悪い自分でもうまできていたからです。ですが、スマッシュができませんでした。なので、バドミントンが上手になりたいです。(中学生 男性 大田区)
- ・ラグビー ダンス プレイキン あまり競技人口のおおくないスポーツをやってみたい(中学生 男性 小平市)
- ・テレビでカーリングを見て自分でもやってみたいと思いました。始めようと思っても、競技の場所も限られており、ハードルが高いと感じているので、気軽に行える機会があれば参加してみたいと思います。(高校生 男性 豊島区)
- ・スポーツライミングをやってみたいです。東京オリンピックからオリンピック競技になり、選手がすごい勢いで壁を登っていく姿に感動したからです。
(高校生 女性 世田谷区)

スポーツ・レクリエーションの認知度、やってみたいか

問4 あなたは、スポーツ・レクリエーションという名称や、その種目を知っていますか？

また、やってみたいと思いますか？

※スポーツ・レクリエーションとは、イラストにあるような、子供から大人まで、「誰でも」「気軽に」「楽しんで」行えるスポーツのことです。



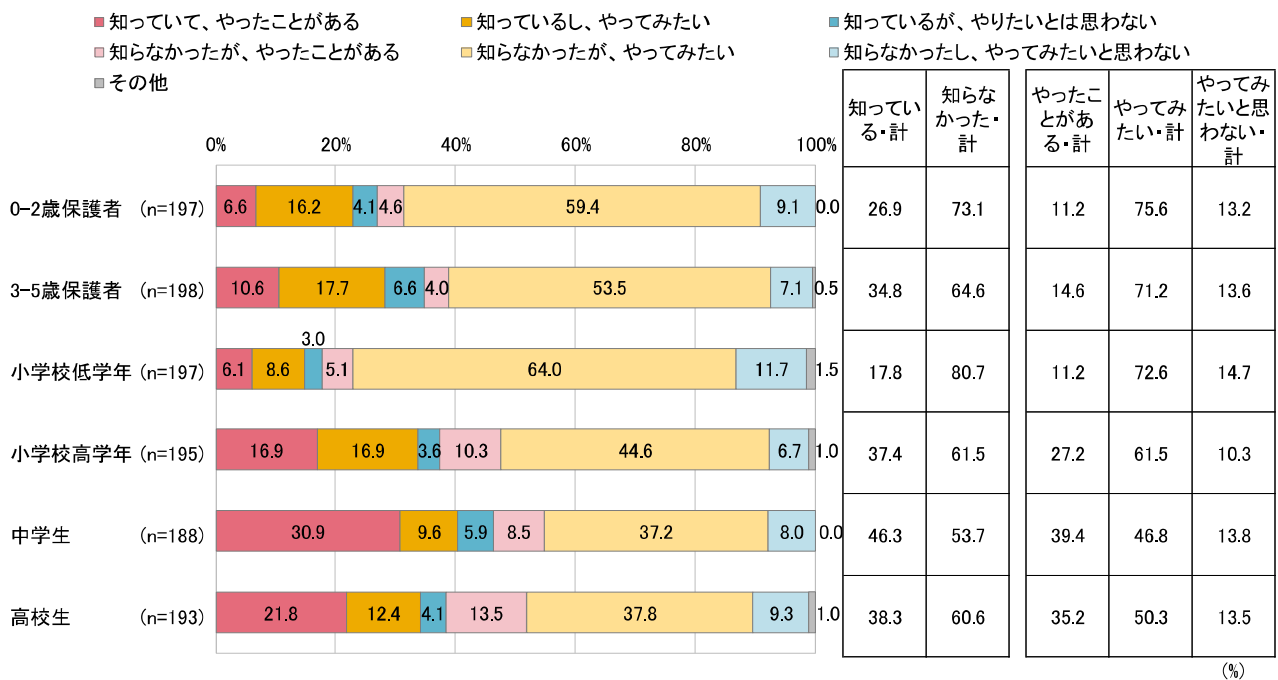
【調査結果の要約】

「知らなかったが、やってみたい」(49.6%)が最も高く、以下「知っていて、やったことがある」(15.3%)、「知っているし、やってみたい」(13.6%)などと続いている。

【その他の主なご意見】

- ・ 知らなかったし、どんなのかわからないからやりたいかわからない
(小学校低学年 男性 足立区)
- ・ テーボールだけ学校でやった(小学校高学年 男性 三鷹市)
- ・ 知らなかったが、体育の授業でやったことがある(高校生 その他 杉並区)

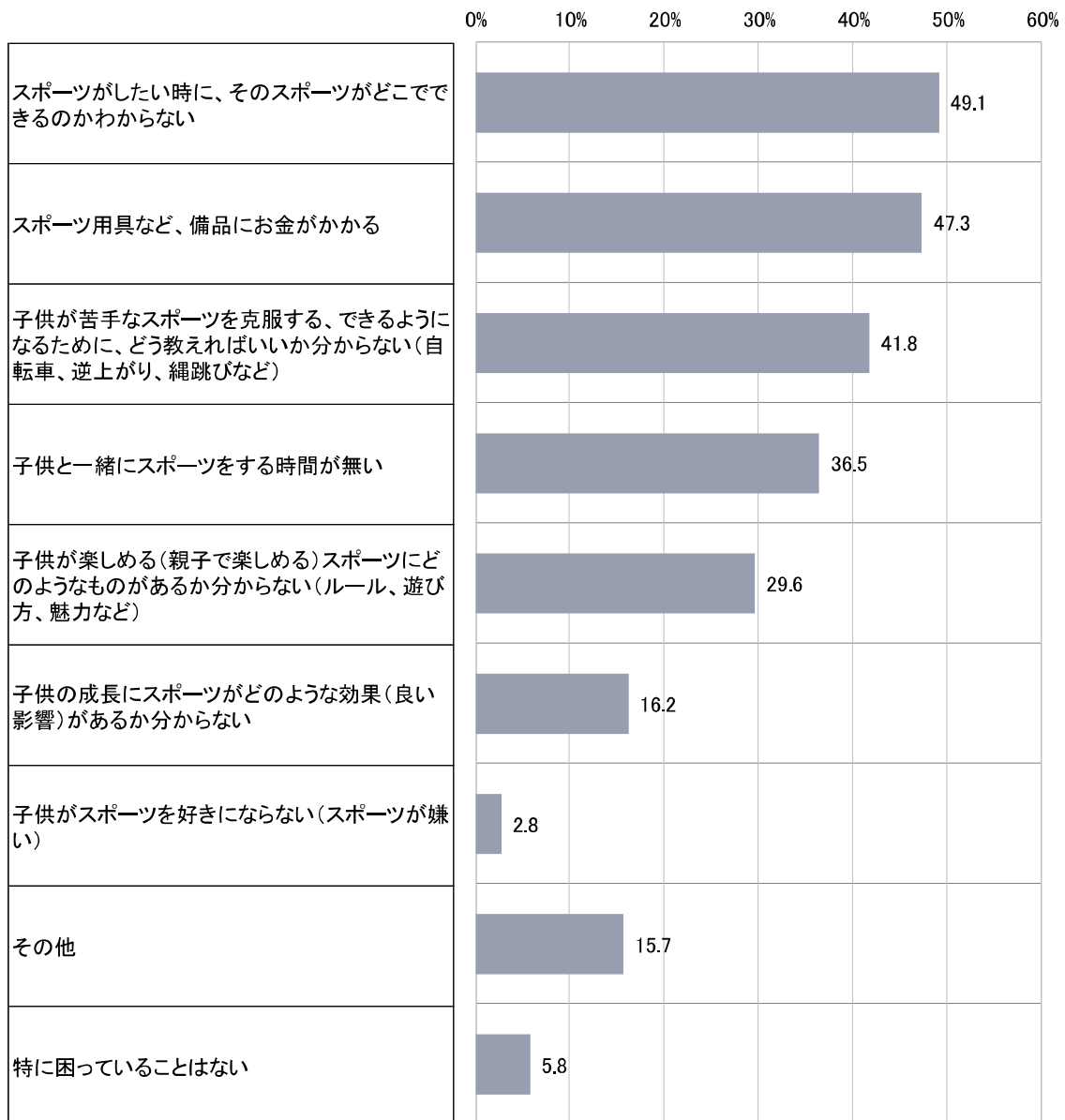
【年代別回答結果】



子供とスポーツの関係で困っていること

問5 あなたが、子供とスポーツの関係で困っていることはありますか？
あてはまるものをいくつでも選んでください。
(対象：未就学児保護者)

MA(n=395)



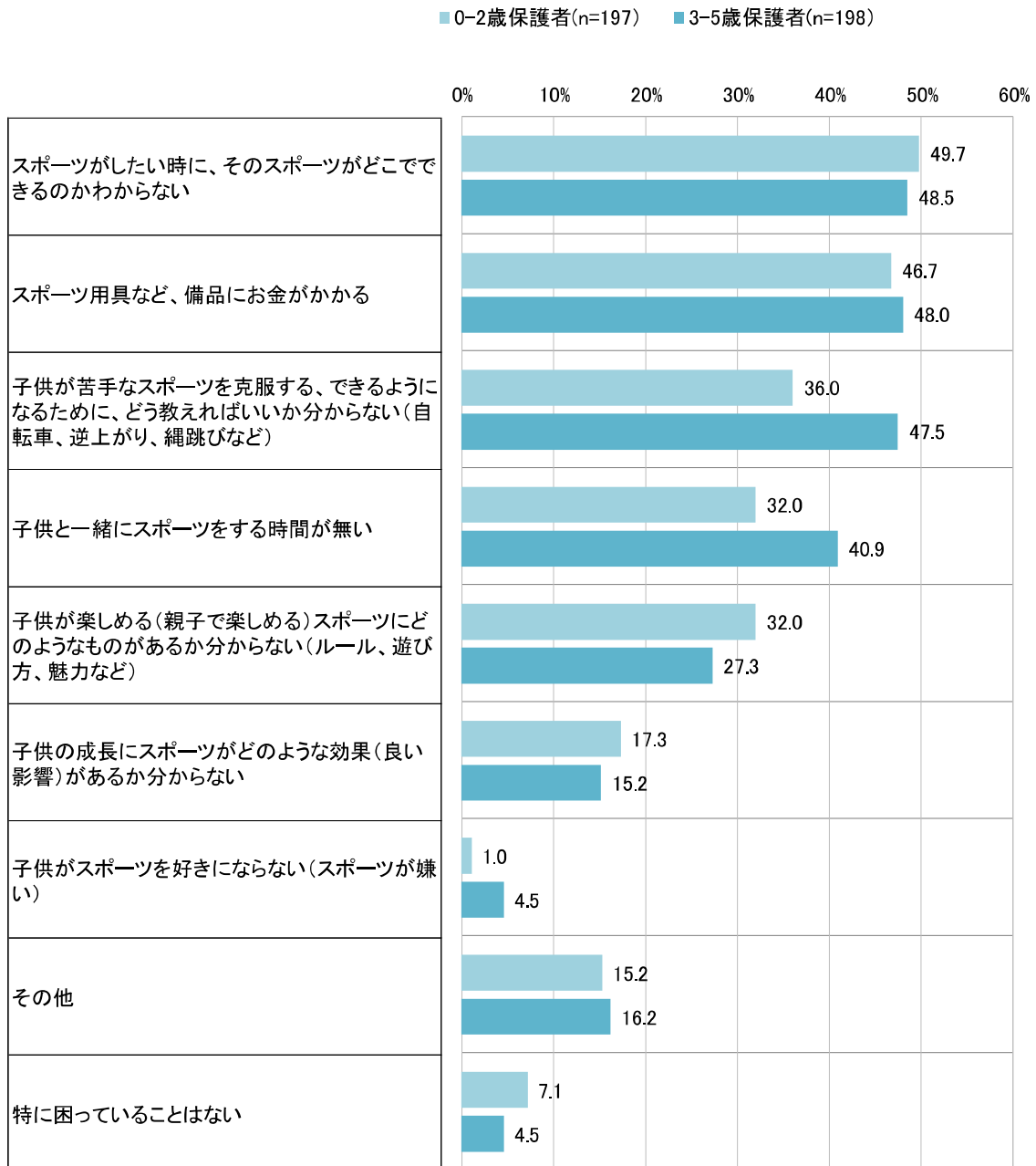
【調査結果の要約】

「スポーツがしたい時に、そのスポーツがどこでできるのかわからない」(49.1%)が最も高く、以下、「スポーツ用具など、備品にお金がかかる」(47.3%)、「子供が苦手なスポーツを克服する、できるようになるために、どう教えればいいのか分からない(自転車、逆上がり、縄跳びなど)」(41.8%)などと続いている。

【その他の主なご意見】

- 3歳ですが、体操や水泳などできる指導者はあまりいない
(0-2歳保護者 男性 江戸川区)
- どのようなタイミング、機会にはじめたらよいか分からない(子供は現在2歳です)
(0-2歳保護者 男性 墨田区)
- 球技をしたいが、球技禁止の公園が多いため出来る場所がない。区主催のスポーツ教室は募集人数が少なく、抽選にほとんど当たらないため参加できない。
(0-2歳保護者 男性 文京区)
- 取り組んでもすぐに飽きてしまったときの対応(0-2歳保護者 女性 世田谷区)
- 嫌いではないが、多様なスポーツに触れる機会が少ないので、やろうと思うきっかけがない。(0-2歳保護者 男性 青梅市)
- 近くに未就学児対応のやりたいスポーツを通える所がないこと。
(3-5歳保護者 男性 中野区)
- スポーツをする機会があっても、対象年齢が限られていて兄弟一緒に参加出来ない。(3-5歳保護者 女性 北区)

【年代別回答結果】



自由意見

今回のテーマ(スポーツ、自転車の安全利用、学童クラブ、海の森公園利活用、救急受診ガイド、広報東京都こども版)について、ほかにもご意見がある場合は、自由に書いてください(300文字まで)。

(1) スポーツ	133件
(2) 自転車の安全利用	51件
(3) 学童クラブ	14件
(4) 海の森公園利活用	107件
(5) 救急受診ガイド	77件
(6) 広報東京都こども版	13件
(7) 複数テーマに関するご意見	150件

【ご意見】

(1) スポーツに関するご意見

- ・ 今年オリンピックパラリンピックの開催年であり、スポーツの素晴らしさを家族で体感しています。スポーツによる心身の効果を、保護者や子どもたち自身にさらに教育していただき、健康リテラシーを高められると良いと思います。子どもたちがスポーツを楽しくもっと身近に感じられるイベントを、これからもたくさん企画していただけるとありがたいです。道具を揃えなければならないスポーツは特に、気軽に体験できる場があると子どもたちに良い経験になると思います。
(0-2歳保護者 男性 文京区)
- ・ スポーツについて。ボールの使用禁止の公園などが多く、子供が気軽に遊べる場所が少ないように感じます。また、習い事としてスポーツをさせたいと思っても、共働き家庭には、送迎の問題があり、躊躇しているご家庭もあると思います。
(0-2歳保護者 女性 大田区)
- ・ 子供にスポーツを習わせたいですが何が好きかハマるか分からないので、そのとっかかりとして公共の施設(住宅街にあるスポーツセンターなど)で半年ぐらいのスパンでスポーツ教室を開催してもらいたいです。高齢者向けのプログラムは多いですが、未就学児用はほぼありません。幼稚園から帰ってきてから行けるような時間帯(16時~17時等)であれば参加したいです。
(3-5歳保護者 女性 江東区)
- ・ スポーツなど普段の生活とは違うことはやらせてみたいですが、金銭面、時間面、子持ち様配慮のための精神的負担のため、なかなか重い腰が上がりません。家の前や近くで出来ることしか出来ていないので、これから子供が小学生になって他の子達に取り残されていかないか心配でなりません。子供と音などを気にせず遊び、程々の料金で楽しめる、公共の施設があればいいのになと思いました。
(3-5歳保護者 女性 杉並区)
- ・ 公園も混んでいたりするので、思いっきり走りたい、思いっきりボールを、投げたり蹴ったりすることができる場所が欲しいです。学校の行事で使い、思いっきり鬼ごっこや氷おにをさせたいです。(小学校低学年 男性 江戸川区)

- スポーツを始めるきっかけが作れるように、いろんなスポーツを体験できる教室を開いてほしい。プロのお話が聞けたり、プロからアドバイスがもらえるイベントなどがあると良い。(小学校低学年 女性 中野区)
- ボール遊びができる公園がとても少なく、困ってます。ほとんど無い。バスケができるようにゴールがほしい。公園とか遊べる事が決まっている。(小学校高学年 男性 目黒区)
- 私はニンテンドースポーツが好きで、そのなかに出てくるオシャレな空間の中でスポーツができたら、すごく楽しいだろうなと思います。図書館から運動スペースが見渡せたり、運動できる近くにオシャレなカフェやレストランがあったり、スポーツを気軽に観戦できるようなスペースがあるといいなと思います。デパートなど多くの人が集まる中に気軽にスポーツができる場所があるとたくさんスポーツに親しめそうです。(小学校高学年 女性 杉並区)
- 学校にプールがなく校庭でもなかなか走り回ったりできないので、商業施設と繋がっている公園だと気軽にピクニックに行けたり、自然に触れる機会が増えていいと思います。(中学生 女性 大田区)
- スポーツが苦手な人でも気軽に楽しめるような軽めのスポーツイベントなどを開催して下さるともっといろいろな人がスポーツを楽しめるようになると思います！(中学生 女性 台東区)
- 私は以前オリンピック選手と会えるという区のイベントに参加したことがあります。そのスポーツに興味を持てるととてもいい機会になったと思っています！施設を整備するののもとても嬉しいですが私は東京都や区で色んなスポーツイベントを開催するのが嬉しいです！(高校生 女性 中野区)
- 近所の公園でボール遊び禁止の公園が多く、子どもたちが自由に遊べなくなってきました。ボール系の部活や習い事に向けての練習(自主練)がしたくてもまともにできないので、どうにか改善してほしいです。(高校生 女性 調布市)

(2) 自転車の安全利用に関するご意見

- 自転車の安全な乗り方は定期的に教えてもらえる機会がほしい。スマホを見ながら乗る子供が減って欲しい。(小学校低学年 男性 江戸川区)
- 自転車の安全利用について 甲州街道沿いの歩道を利用していますが、歩道は狭く前から後ろからも自転車が通り歩行者も危険です。自転車と歩行者に分かれている歩道などに整備してもらえると安心して自転車に乗ることができると思います(小学校低学年 女性 府中市)
- 自転車に乗る時に車道を走らなければならないのは、とても怖いです。大きい車やスピードが早い車がたくさんだし、バイクも通るから、今まで通り歩道を安全に走りたいです。歩いている人をちゃんと優先しているので、そうして欲しいです。小さい弟も1人で自転車に乗るので、心配です。(小学校高学年 女性 練馬区)
- 自転車の安全について、自転車と歩行者の線が別れている横断歩道が、増えるといいと思います。(小学校高学年 女性 大田区)

第 1 編（総論）

第 1 章 東京におけるスポーツの推進

1 計画策定の背景

- | | | |
|------|--|----------|
| 記載内容 | ➤ 計画の意義や位置付けを記載 | } 【別紙 1】 |
| | ➤ 現行計画及び新計画の計画期間内における <u>スポーツを取り巻く主な動き</u> を整理 | |
| | ➤ 計画策定の背景として、 <u>大規模スポーツ大会の開催に関する動向や東京2020大会のレガシー、コロナ禍がもたらした影響</u> を記載 | |

2 本計画におけるスポーツとは

- | | | |
|------|---|----------|
| 記載内容 | ➤ 本計画における <u>スポーツの定義</u> を整理し、取り扱う <u>スポーツの範囲</u> を説明 | } 【別紙 2】 |
| | ➤ <u>eスポーツ</u> について、本計画における <u>取扱い</u> を記載 | } 【別紙 3】 |

3 スポーツの意義・価値

- | | | |
|------|--|----------|
| 記載内容 | ➤ <u>スポーツの内在的価値や外在的価値について図示し、これらを高めることによって暮らしが豊かになり、一人ひとりのウェルビーイング向上につながることを説明</u> | } 【別紙 4】 |
|------|--|----------|

4 スポーツの効用・効果

- | | |
|------|---|
| 記載内容 | ➤ <u>スポーツの効果・効用</u> について、以下の視点から説明 <ul style="list-style-type: none"> ・ 健康の維持・増進（身体活動や座位行動と死亡率の関係、運動習慣と認知症、みるスポーツと健康、子供とスポーツ） ・ 共生社会の実現（障害者、高齢者、女性とスポーツについて） ・ 地域・経済の活性化 |
|------|---|

計画の構成（目次）

第1編（総論）

第1章 東京におけるスポーツの推進

5 スポーツへの参画方法

記載内容

- する・みる・支える・（応援する）といった参画方法の分類について説明 } 【別紙5】

第2章 東京のスポーツを取り巻く状況

1 スポーツを取り巻く環境の変化

記載内容

- 人口構成や世帯構成の変化など、政策の前提となる動態を記載
- スポーツ実施率をはじめ、都民の体力やスポーツ実施に関する現状や課題を記載
- 学校部活動参加者の減少、気候危機、労働の変化への対応の必要性について記載
- デジタル技術の発展やeスポーツに関する動向等について記載
- 国や企業等の動向について記載

【別紙6】

2 世界における日本・東京の現在

記載内容

- 急速に高齢化が進展する日本・東京が、今後、都市の先進モデルとなるために取り入れていくべき観点を整理
- スポーツが、東京の魅力向上のポテンシャルを秘めていることについて記載

【別紙7】

計画の構成（目次）

第1編（総論）

第3章 基本理念・目標

1 本計画の基本理念・将来のビジョン

2 4つの政策の柱

3 重点政策テーマ

- | | | |
|------|--|-------|
| 記載内容 | ➤ 本計画の基本理念を提示するとともに、 <u>将来目指す「スポーツフィールド・東京」の姿をビジョン</u> として設定 | 【別紙8】 |
| | ➤ 基本理念及びビジョンの実現に向け、 <u>4つの政策の柱</u> を設定 | |
| | ➤ 本計画期間に <u>重点的に取り組む政策テーマ</u> を、施策横断的に推進する <u>プロジェクト</u> として記載 | |

4 政策強化に向けた施策

5 達成指標一覧（案）

- | | | |
|------|--|--------|
| 記載内容 | ➤ 政策の柱ごとに、 <u>「施策」及び「重点政策テーマ」の方向性や、目指す政策効果、達成指標（案）</u> を記載 | 【別紙9】 |
| | ➤ 達成指標（案）について、一覧で整理 | 【別紙10】 |

計画の構成（目次）

第2編（各論）

第1章 目標達成に向けた施策展開

1 重点政策テーマ 2 政策の柱ごとの12の施策

記載内容

- 6つの重点政策テーマについて、現状・課題や方向性、今後の取組を説明
- 政策の柱ごとに体系化した各施策について、現状・課題や方向性、今後の取組を説明

第2章 計画の着実な推進と進行管理

1 計画の着実な推進 2 PDCAサイクル

記載内容

- 第1章「目標達成に向けた施策展開」に記載した各取組について、年度ごとの事業目標を定め、着実に推進
- 事業実績や達成指標等について、現状把握や評価等を適切に実施しPDCAサイクルを徹底することにより、施策の見直しや拡充を不断に行っていくことを記載

第3編（特集）

○パラスポーツの振興 ○多摩・島しょに関する施策 ○計画策定の経緯（審議会・都民意見の聴取）

記載内容

- パラスポーツ振興の考え方や施策の体系、今後の展開などを説明
- 多摩・島しょ地域に関する施策を取りまとめて掲載
- 第29期東京都スポーツ振興審議会における議論の経過や、都民・関係団体からの意見聴取の取組を記載

計画策定の背景

別紙 1

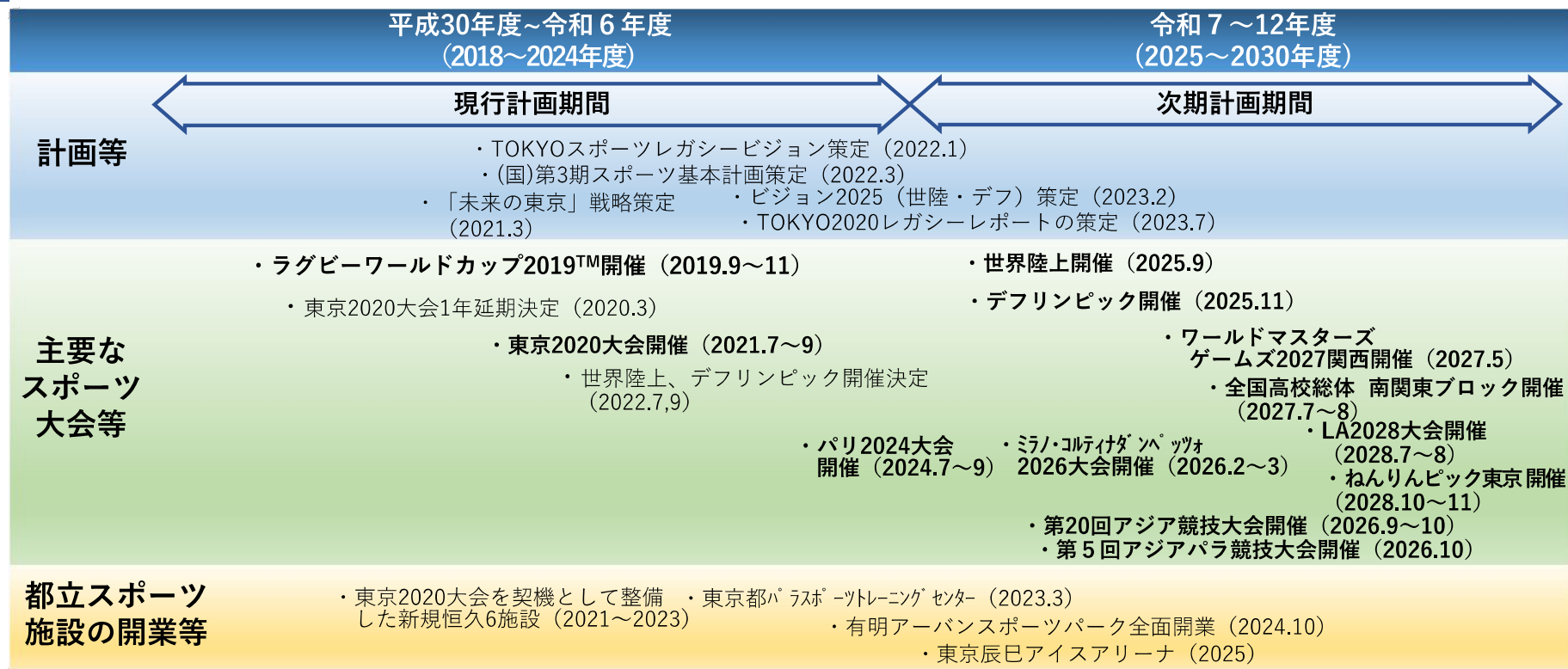
現行計画期間は、**新型コロナウイルスとの闘いの中、東京2020大会開催を実現した**
次期計画期間は、こうした経験を**世界陸上・デフリンピックやねんりんピック**の成功につなげ、更なるスポーツ推進を図る

東京都スポーツ推進総合計画とは

計画の位置付け

- ✓ **未来の東京**を見据え、スポーツ推進の観点から東京都として**目指すべきビジョン**と、その実現のために**令和 7 (2025)年度から令和12(2030)年度までの 6 年間**で取り組むべき**基本方針及び施策展開の方向性**を示した、都における**スポーツ行政の「羅針盤」**

スポーツを取り巻く主な動き



本計画におけるスポーツとは①

別紙 2

本計画におけるスポーツの範囲は、競技スポーツのほか、目的を持った身体活動まで広く捉える

「スポーツ」の範囲に関する整理

- 「スポーツ」はラテン語「deportare（気晴らしをする、楽しむ、遊ぶ）」が語源
- 「スポーツ」の定義には様々な学説があり、スポーツに含まれる活動の範囲に明確な定めはない
- 我が国では、戦後、子供の体力・運動能力向上という観点からスポーツが活用されるようになり、近年はスポーツの楽しさや喜びを味わってもらうことの重要性も認識されてきた
- スポーツ基本法では、「スポーツは、心身の健全な発達、健康及び体力の保持増進、精神的な充足感の獲得、自律心その他の精神の涵養等のために個人又は集団で行われる運動競技その他の身体活動」としている
- 現行計画は、「ルールに基づいて、勝敗や記録を競うものだけでなく、余暇時間や仕事時間等を問わず健康を目的に行われる身体活動、更には遊びや楽しみを目的とした身体活動（相応のエネルギー消費を伴うもの）まで、幅広く捉えていく」としている

本計画における「スポーツ」の範囲についても、現行計画と同様に幅広く捉える

本計画で取り扱う「スポーツ」の範囲

競技スポーツ
(ルールに基づいて勝敗や記録を競うスポーツ)

【具体的事例】

陸上競技、水泳、サッカー、ラグビー、
野球、自転車競技、ボッチャ、ゴールボール など



目的※を持った身体活動

※健康の保持・増進、気晴らし・楽しみ、美容など

【具体的事例】

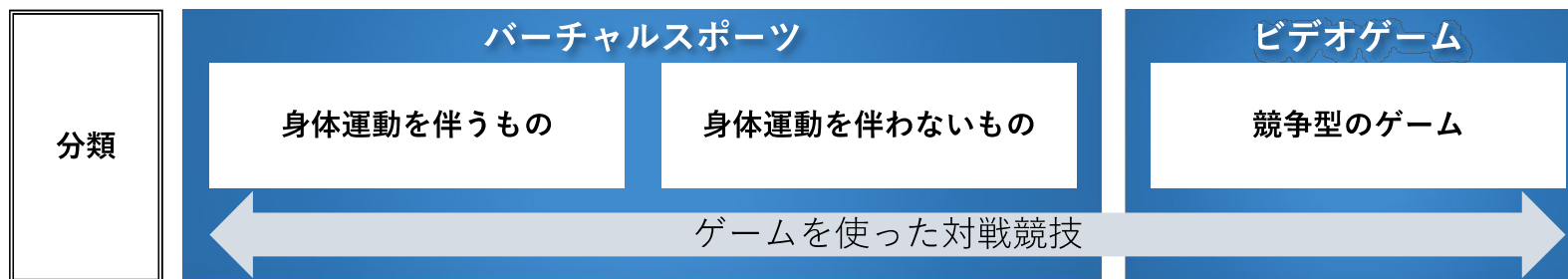
ウォーキング、ジョギング、サイクリング、筋力トレーニング、
ラジオ体操、階段昇降 など

- eスポーツには様々な種類があり、スポーツ推進に資する効用を持つものも多い
- 身体運動を伴うものをはじめ、スポーツの価値を実現するeスポーツの取組を展開していく

eスポーツの種類

【参考：eスポーツの概念図】

※IOCの「オリンピック・アジェンダ2020+5」における整理を参照し、整理の一例として作図したもの



- eスポーツとは、「エレクトロニック・スポーツ」の略で、広義には、電子機器を用いて行う娯楽、競技、スポーツ全般を指す言葉である
- eスポーツには、スポーツ競技をコンピュータゲーム化した「バーチャルスポーツ」や、それ以外の「ビデオゲーム」、ゲームを使った対戦競技全般など、様々な種類がある。本計画では、これらを総称して「eスポーツ」という

eスポーツの効用

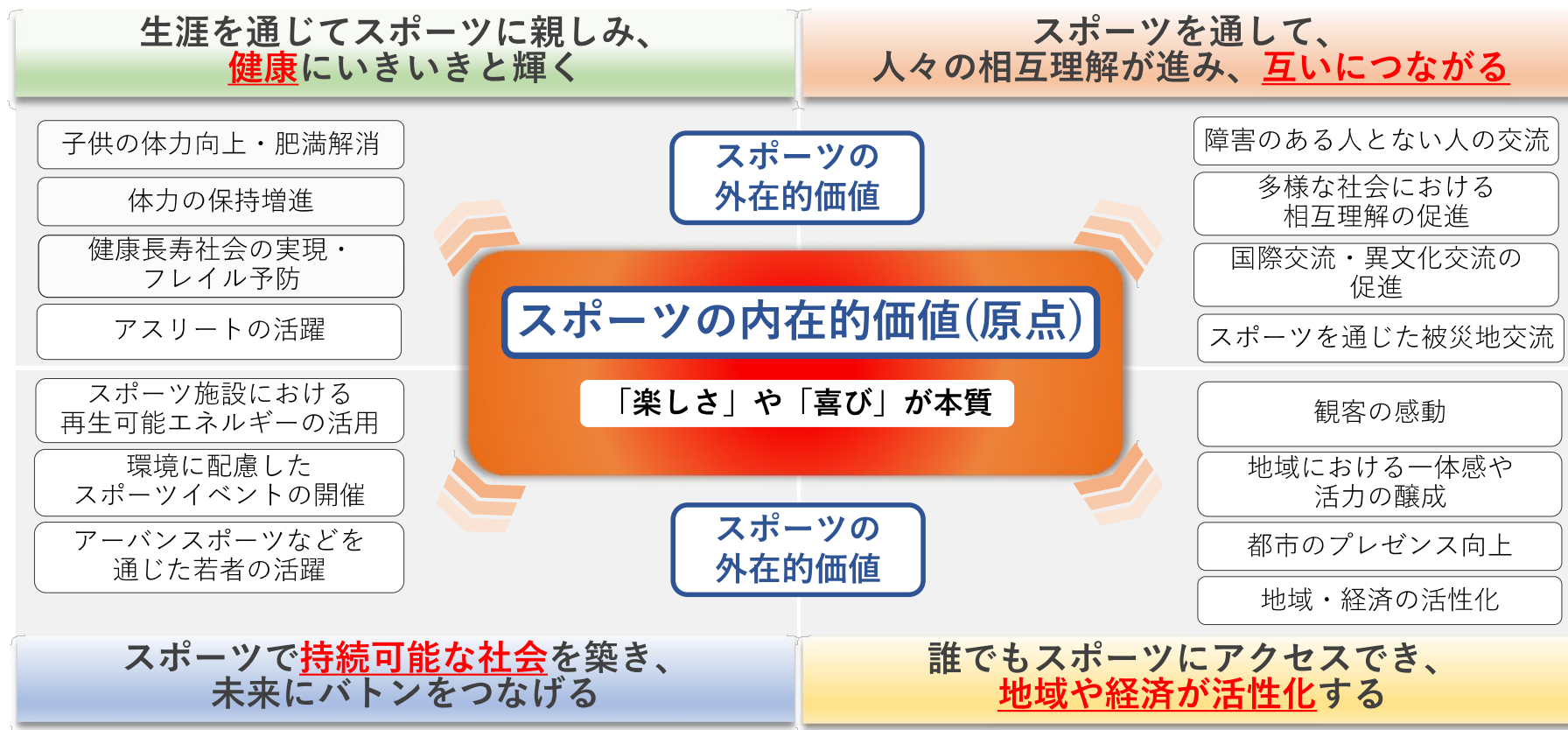
- ✓ 障害の有無や年齢・性別を問わず楽しむことができるため、これまでも障害者のスポーツ実施に向けた取組として、バーチャルスポーツを施策に取り入れてきた
- ✓ 場所や距離を問わず、海などの自然環境や競技設備などが整わない状況でも実施できるため、気軽に参加可能という特徴があり、スポーツへの関心喚起、フレイル予防やマイナー競技の普及といったスポーツ推進に資する
- ✓ リアルスポーツと同様に、特に子供たちの戦略性やチームワークを学ぶ機会となる

身体運動を伴うものをはじめ、スポーツの価値を実現するeスポーツの取組を展開していく

スポーツの価値

別紙 4

- スポーツには、「楽しさ」や「喜び」といった「**内在的な価値**」と、**社会活性化等**に寄与する「**外在的な価値**」がある
- スポーツの価値を**全ての人々が享受**できるよう取り組み、**健康・幸福な暮らし**や、様々な**社会課題の解決**につなげる



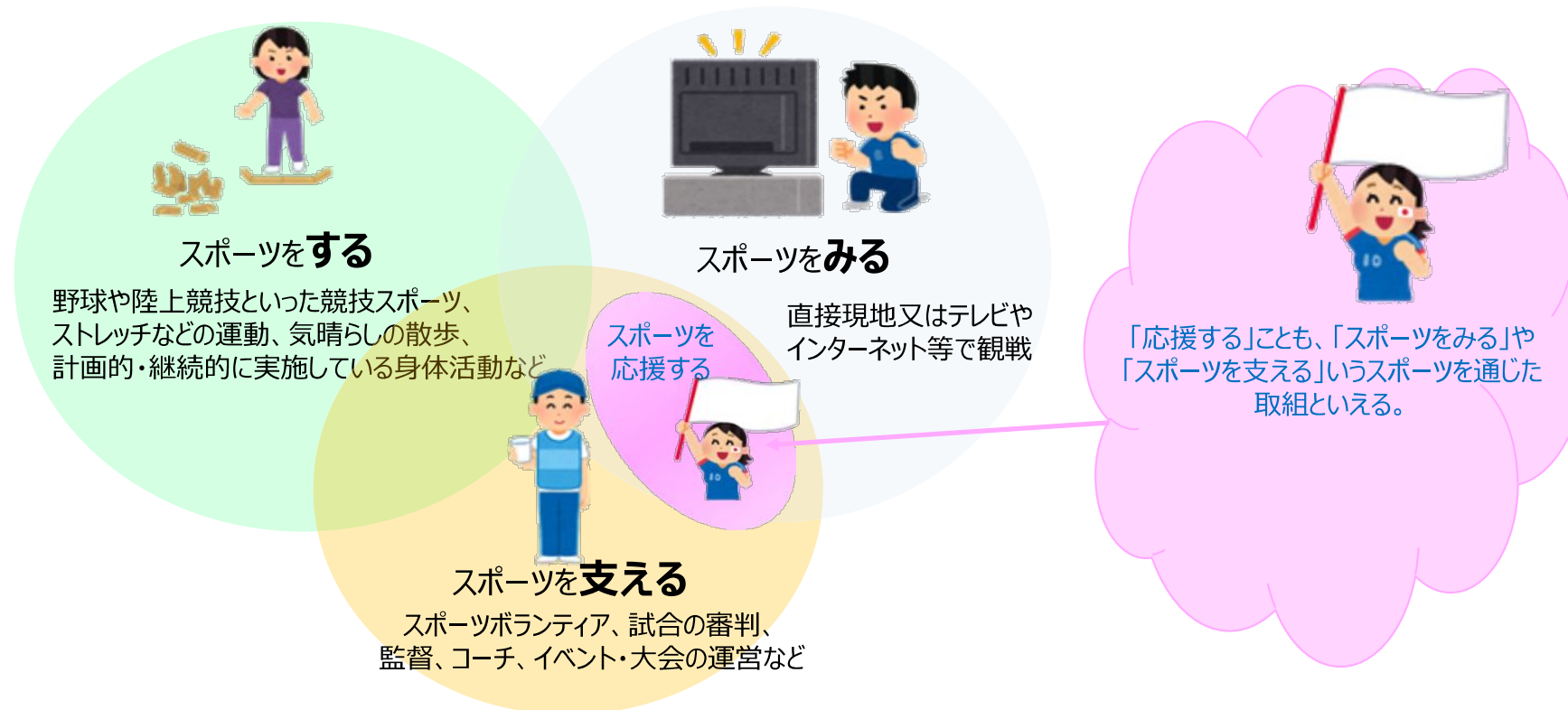
内在的価値を高めるとともに、良い影響が**社会課題の解決**にもつながることで、暮らしが豊かになる

▶ **一人ひとりのウェルビーイング向上を実現**

する・みる・支える・応援する

- スポーツ参画の方法には「する」「みる」「支える」があり、「応援する」ことも「みる」「支える」取組といえる
- 「する」「みる」「支える」を組み合わせることで、充実感・幸福感をより得られるように

スポーツ参画の方法



- ✓ 1年間でスポーツを「する」「みる」「ささえる」のいずれかに参画した者の割合（スポーツに参画した割合）は、87.8%（男性89.9%、女性85.7%）
- ✓ 「する・みる・ささえる」全てに参画した者（8.6%）は、日常生活の充実感を感じている割合が高く（86.3%）、幸福感も比較的高い（7.7点／10点満点）

※「する」の割合は、「この1年間に運動やスポーツを実施した日数」で1日以上と回答した者の割合

※「みる」の割合は、「直接現地」又は「テレビやインターネット」のいずれかで観戦と回答した者の割合

※「ささえる」の割合は、「運動・スポーツをささえる活動」で「行っていない」と「わからない」を除いた割合

※令和5年度「スポーツの実施状況等に関する世論調査」(スポーツ庁)より抜粋

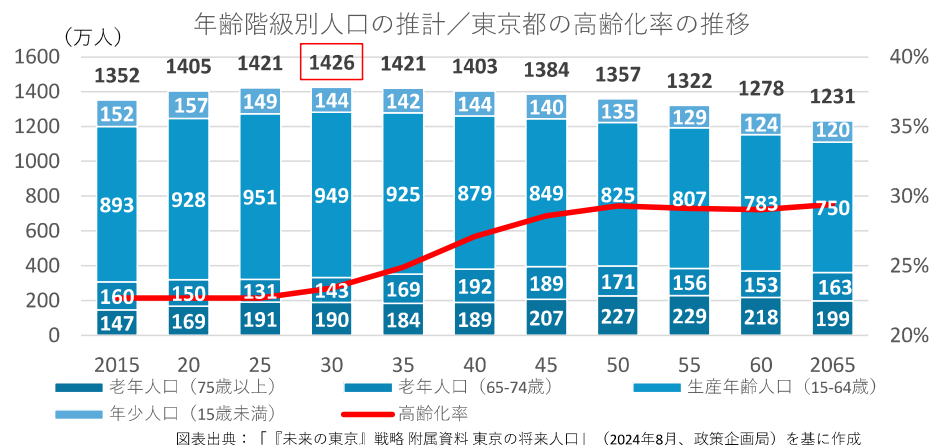
スポーツを取り巻く環境の変化①

別紙6-1

- 世界に先駆け高齢化が進む日本。東京の総人口は2030年をピークに減少し、高齢者の一人暮らし世帯が増加
- 超超高齢社会における更なる健康長寿の実現に向け、スポーツの力を最大限生かしていく

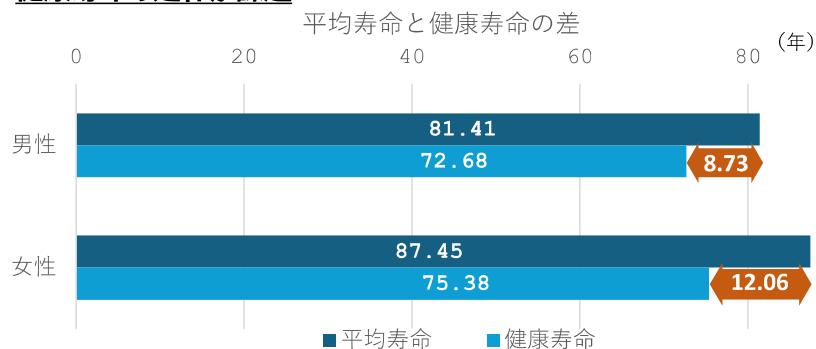
人口構成（少子高齢化）

都では2030年をピークに人口が減少。少子高齢化が一層進行する



平均寿命と健康寿命

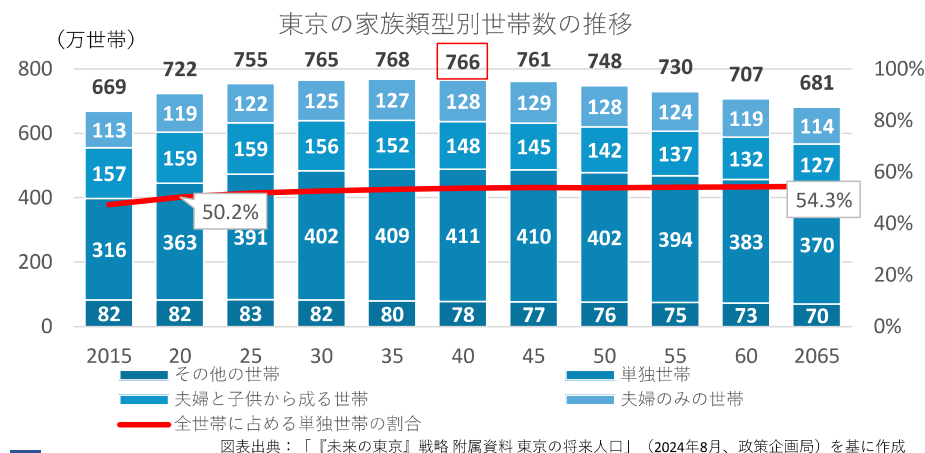
平均寿命と健康寿命の差は、男性で8.73年、女性で12.06年となっており、健康寿命の延伸が課題



図表出典：「第16回健康日本21（第二次）推進専門委員会 資料3-1『健康寿命の令和元年値について』」（2021年12月実施、厚生労働省）を基に作成

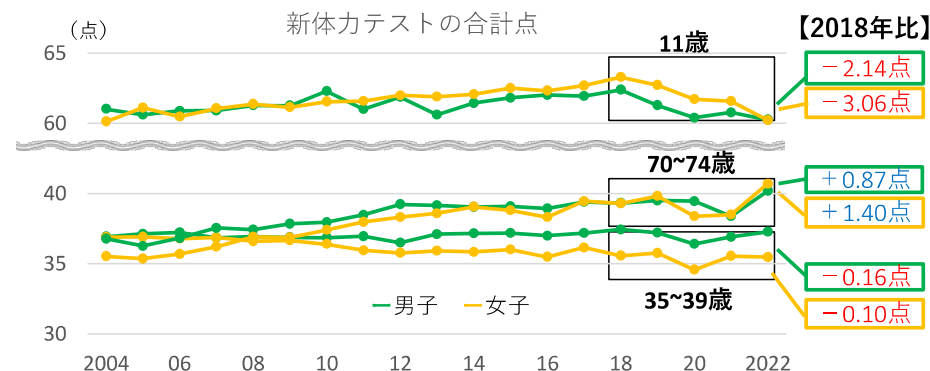
世帯構成（単身世帯増）

都では2040年をピークに世帯が減少。高齢者の一人暮らしが増加する



体力の変化

コロナ禍で進行した体力低下について、大人は回復傾向にある一方、子供は依然として低下傾向にある。



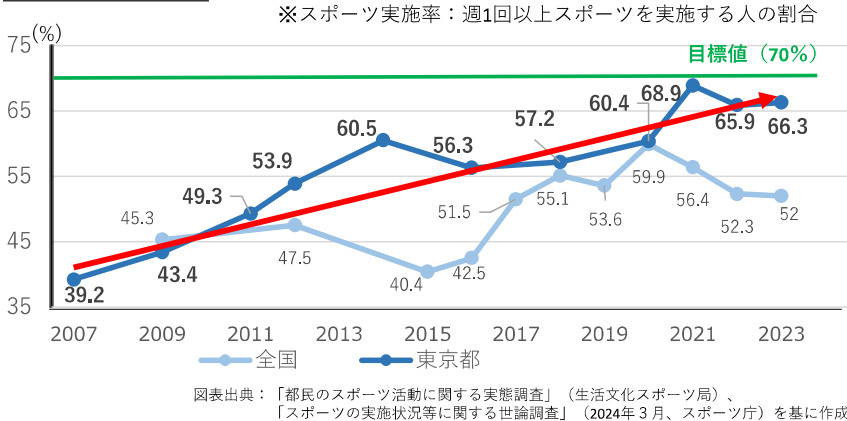
図表出典：「令和4年度 体力・運動能力調査結果」（2023年10月、スポーツ庁）を基に作成

スポーツを取り巻く環境の変化②

- **スポーツ実施率**は着実に上昇してきた。今後、実施率の維持・拡大とともに、**スポーツの質の向上**が重要
- **スポーツに関する課題**は、子供、女性、障害者など**対象により様々**。**特性やライフステージ**に応じた政策強化が必要

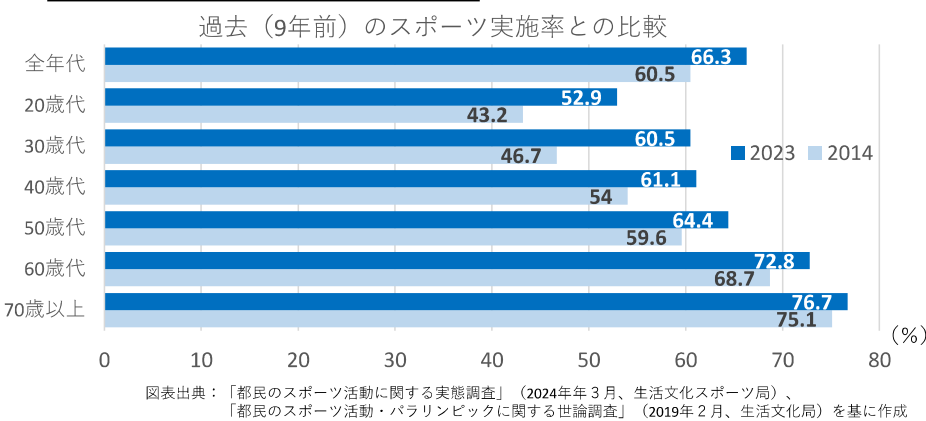
スポーツ実施率の推移

都では、現行計画を策定の2018年度から着実に上昇し、目標値の70%に迫っている



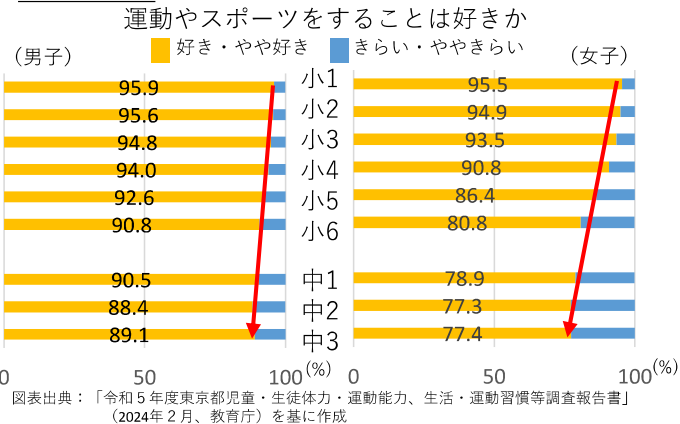
過去のスポーツ実施率との比較

男女ともに全ての年代で増加。9年間でスポーツを実施する人が5.8ポイント増加。増加幅は逡増傾向



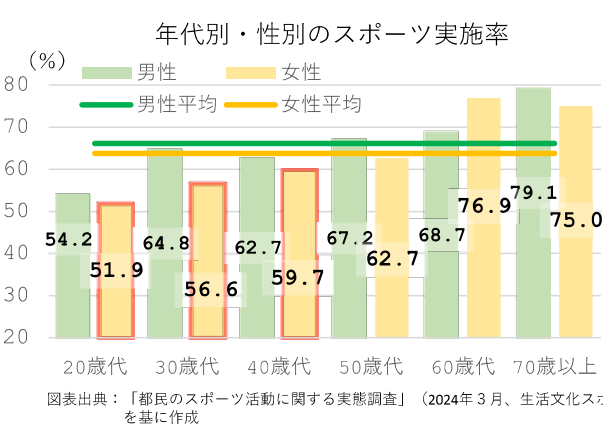
子供のスポーツ

学年が上がるにつれて、「スポーツ好き」な子供の割合は低下



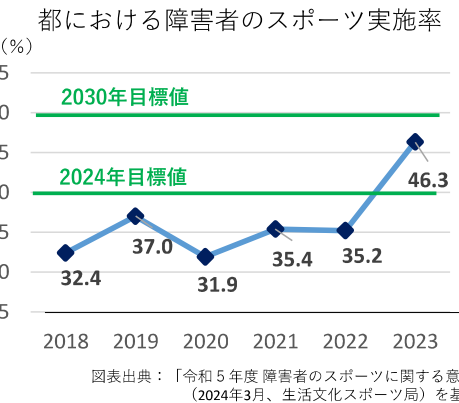
女性のスポーツ

20～40歳代の女性は男性や他世代と比べスポーツ実施率が低い



障害者のスポーツ実施率の推移

障害者のスポーツ実施率は目標値の50%に迫っている。



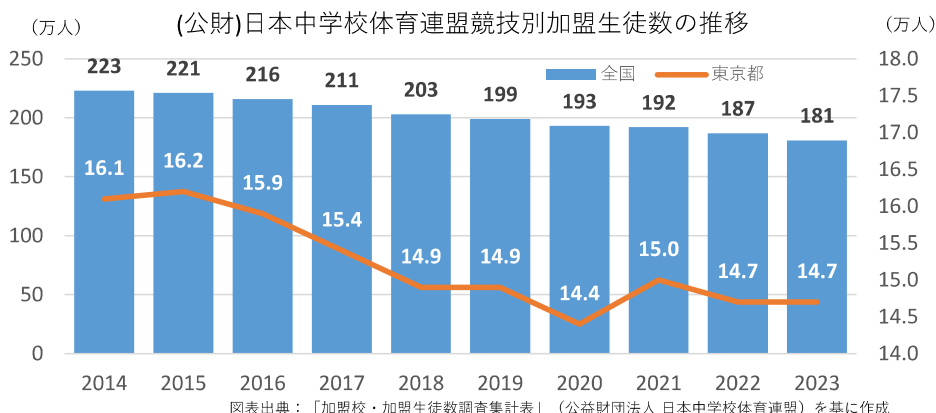
スポーツを取り巻く環境の変化③

別紙6-3

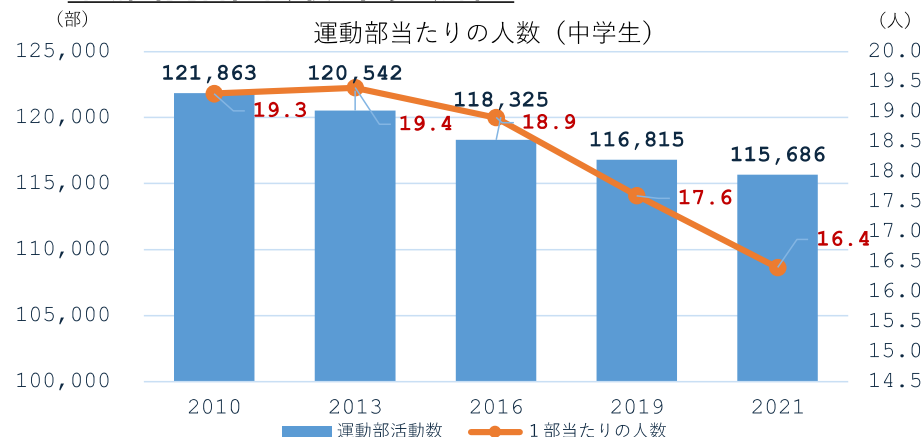
- 学校部活動参加者の減少や気候危機、労働市場の変化など、都民の暮らしは日々変化している
- こうした環境変化を**変革の機**と捉え、都民の**豊かな暮らし**につなげる

学校部活動の状況

運動部活動参加者数は減少の一途をたどっている

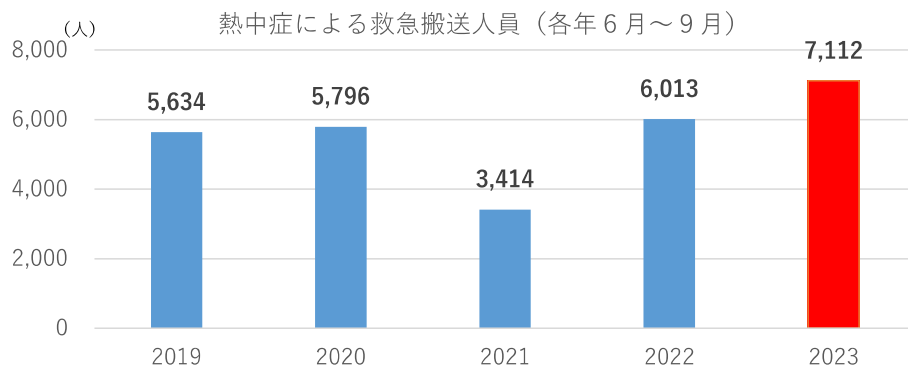


運動部活動1部当たりの人数も減少傾向にある。部活動の地域連携・地域移行と合わせ今後の在り方が課題



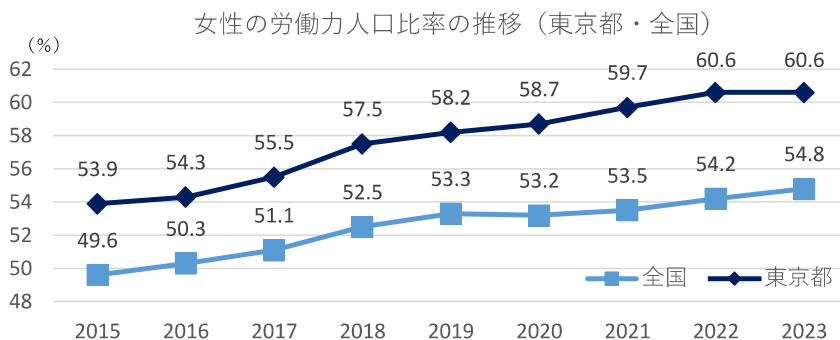
気候危機（熱中症搬送人員）

令和5年度の熱中症による搬送人員は過去5年で最多であり、**安全なスポーツ実施環境の整備が課題**



労働の変化

東京は女性の労働力人口比率が全国に比べて高い

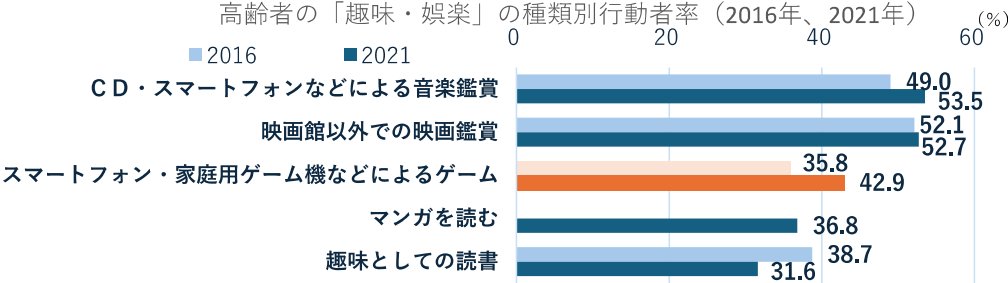


スポーツを取り巻く環境の変化④

- eスポーツ市場の活況や高齢者の余暇の過ごし方の変化など、eスポーツは身近なものとなっている
- 行政がeスポーツに取り組むことに肯定的な受け止めが多く、若い世代ほどスポーツそのものと受け止めている

高齢者の余暇活動

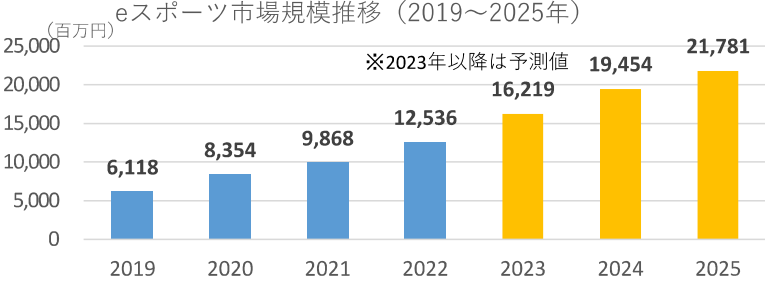
高齢者の余暇活動のうち「スマートフォン・家庭用ゲーム機などによるゲーム」の上昇幅が最大



図表出典：「令和3年社会生活基本調査結果」（2022年8月、総務省統計局）を基に作成

eスポーツ市場規模

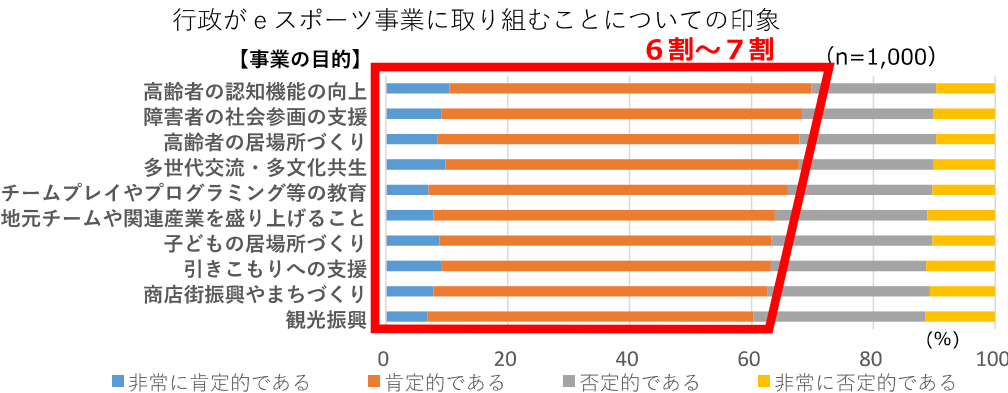
2022年国内eスポーツ市場は前年比127%の125億円に到達し、今後も拡大見込み



図表出典：日本eスポーツ白書2023/角川アスキー総合研究所を基に作成

様々な行政分野におけるeスポーツの可能性

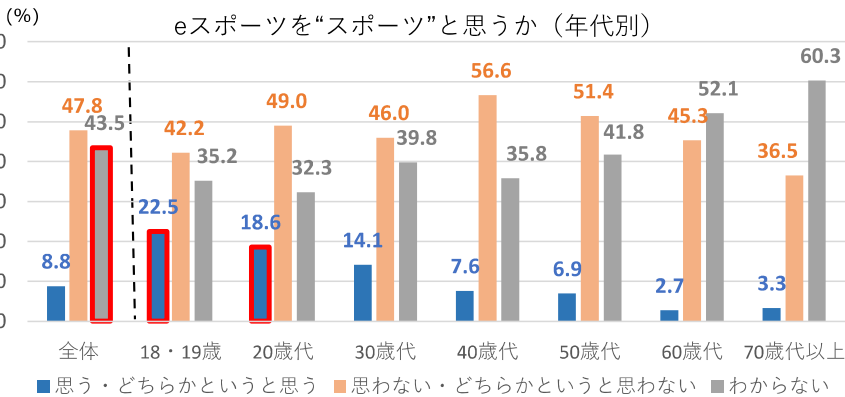
行政がeスポーツに取り組むことについて、選択肢としていずれの事業においても肯定的な印象が6割以上を占めた



図表出典：「地域課題の解決に向けたeスポーツの可能性に関する調査研究報告書」（2024年3月、公益財団法人東京都町村自治調査会）を基に作成

eスポーツに対する認識

eスポーツをスポーツと思うか否かについて、全体では「わからない」という浮動票が半数近くに上るが、若い世代ほどスポーツと思う割合が高い



図表出典：「スポーツライフ・データ2018」（公益財団法人笹川スポーツ財団）を基に作成

eスポーツを取り巻くスポーツ界の環境は急速に変化している

国内の動向

- ・ 2019年：国民体育大会に合わせ、茨城県が全国初となる都道府県対抗によるeスポーツ大会を開催
- ・ 2024年：日本eスポーツ連合をJOC（日本オリンピック委員会）の準加盟団体として承認 ※2027年3月まで
- ・ 2024年：ねんりんピック（鳥取）において、eスポーツが文化交流大会の正式種目として初めて採用

IOCの動向

「オリンピック・アジェンダ2020+5」において、若者にスポーツへの関心を高めてもらうためにバーチャルスポーツを生かしていくことを提言

- ・ 2021年：史上初の公式eスポーツ大会（オリンピック・バーチャルシリーズ）をオンラインで開催
- ・ 2023年：IFやゲーム会社と連携した世界的なスポーツ競技大会（オリンピックeスポーツシリーズ）を開催し、決勝戦をシンガポールで開催
- ・ 2025年：第1回「オリンピック・eスポーツ・ゲームズ」をサウジアラビアで開催

実施種目 身体活動を伴うeスポーツ種目を含めて実施

アジア大会

- ・ 2023年：杭州アジア大会においてeスポーツが初めて正式種目に採用
- ・ 2026年：愛知・名古屋アジア大会においても、eスポーツが正式種目に採用

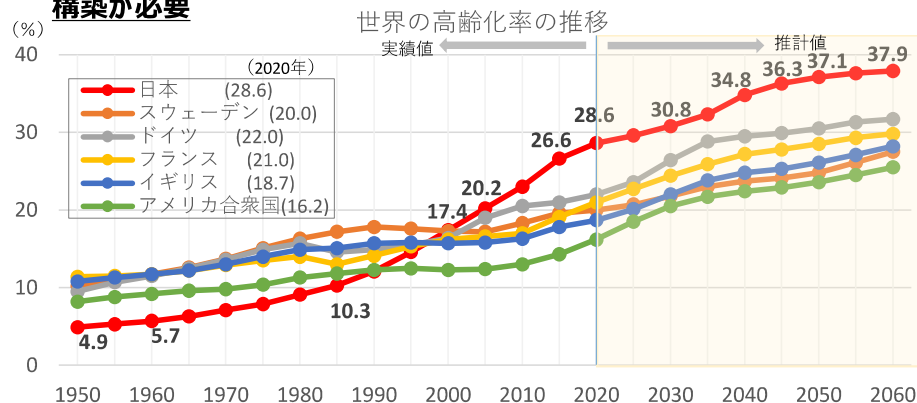
世界における日本・東京の現在

別紙 7

- 世界で最も早く高齡化が進む日本。生産性・効率性の低さ、国際化の遅れ等により国際競争力は低迷している
- 一方、新たな市場の成長や誘客拡大の可能性など、日本の更なる発展に向けた潜在能力がある

先進諸国の高齡化率

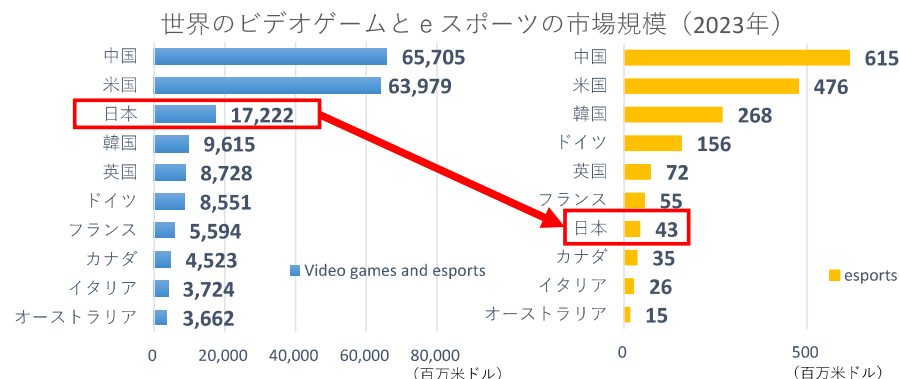
日本は世界で最も高齡化率が高く、今後も高水準。高齡化社会の都市モデル構築が必要



図表出典：「令和5年版高齢社会白書（全体版）」（2023年6月、内閣府）を基に作成

ゲーム市場全体とeスポーツの市場規模

日本ではゲーム全体の売上高に比べ、eスポーツ単体の売上は低く、eスポーツ市場は成長の可能性がある



図表出典：PwC グローバル エンタテインメント & メディア アウトLOOK 2024-2027、Omdiaを基に作成

訪都旅行者数の推移

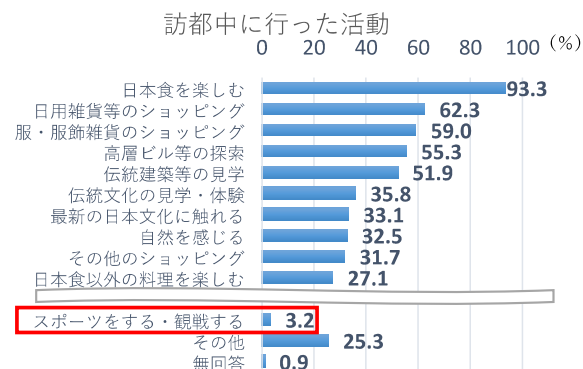
訪都外国人旅行者は過去最多の約1,954万人。
訪都外国人旅行者の観光消費額も過去最高



図表出典：「東京都観光客数等実態調査」（産業労働局）を基に作成

訪都外国人の活動

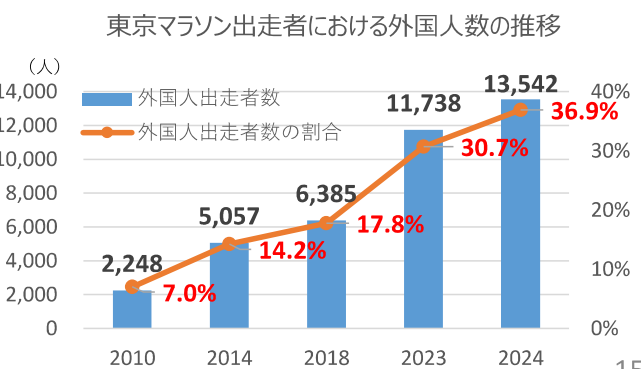
訪都中にスポーツやスポーツ観戦を行った外国人旅行者は3.2%。誘客拡大の余地を秘めている



図表出典：「令和5年国・地域別外国人旅行者行動特性調査結果」（産業労働局）を基に作成

東京マラソン出走者の推移

東京マラソンは2013年から世界6大メジャーマラソンに。
外国人ランナー数も年々増加傾向にある。



図表出典：「過去の大会結果・記録」（一般財団法人 東京マラソン財団）を基に作成

次期計画の基本理念と将来のビジョン

別紙 8 - 1

スポーツを取り巻く環境変化やスポーツの意義・価値を捉え、計画の**基本理念・ビジョン、政策の柱**を設定

基本理念

**「誰もがスポーツを『楽しむ』東京を実現し、
一人ひとりのウェルビーイングを高め、社会を変革する」**

将来のビジョン

基本理念の下、**将来目指す「世界に誇るスポーツフィールド・東京」の姿**をビジョンとして設定

ビジョンⅠ

子供の頃から**好きな
スポーツ**と出会い、**楽しみ、
健康・幸福**に生きている

ビジョンⅡ

新たな技術が**スポーツを
変革し、つながりや
相互理解**が生まれている

ビジョンⅢ

世界中のアスリートや観客で
**にぎわい、世界で最も魅力的で
選ばれる都市**に

ビジョンⅣ

安全・安心・信頼の下、
**いつまでもスポーツを
楽しめる社会**が実現

4つの政策の柱

基本理念及びビジョンの実現に向け、本計画期間における**4つの政策の柱**を設定

健康・幸福

スポーツで **輝く**

生涯を通じて、**自らに合ったスポーツ**を楽しみ、**健康・幸福**に生きる。

共生社会

スポーツで **つながる**

スポーツを楽しむことを通じて、互いに**つながり、相互理解**が進む。

地域・経済活性化

スポーツで **にぎわう**

世界の人々が**交わり**、スポーツを楽しむことで、東京が**活性化**する。

スポーツの持続可能性

スポーツを **支える**

安全・安心・信頼の地盤をつくり、**スポーツの持続可能性**を高める。

- ✓ 次期計画期間中に**重点的に取り組む政策テーマ**を、プロジェクトにより**施策横断的**に推進

Project 0 スポーツの力を高める「スポーツDXプロジェクト」



各政策にデジタル技術を取り入れ、
政策効果を飛躍的に発展

Project 1 スポーツとともに育つ「チルドレン・スポーツ・プロジェクト」

Project 2 多様性が輝く「スポーツ・ダイバーシティ・プロジェクト」

Project 3 スポーツの力で世界を勝ち抜く「TOKYOの魅力向上プロジェクト」

Project 4 スポーツ施設を最大限活用する「18 FACILITIESプロジェクト」

Project 5 スポーツを支える仕組みを創る「支える担い手確保プロジェクト」

基本理念	誰もがスポーツを『楽しむ』東京を実現し、 一人ひとりのウェルビーイングを高め、社会を変革する			
将来の ビジョン	ビジョンⅠ 子供の頃から好きなスポーツと 出会い、楽しみ、 健康・幸福に生きている	ビジョンⅡ 新たな技術がスポーツを変革し、 つながりや相互理解が 生まれている	ビジョンⅢ 世界中のアスリートや観客で にぎわい、世界で最も魅力的で 選ばれる都市に	ビジョンⅣ 安全・安心・信頼の下、 いつまでもスポーツを楽しめる 社会が実現
4つの 政策の柱	健康・幸福 スポーツで 輝く	共生社会 スポーツで つながる	地域・経済活性化 スポーツで にぎわう	スポーツの持続可能性 スポーツを 支える
重点政策 テーマ	Project 0 スポーツの力を高める 「スポーツDXプロジェクト」			
	Project 1 スポーツとともに育つ 「チルドレン・スポーツ・プロジェクト」	Project 2 多様性が輝く 「スポーツ・ダイバーシティ・プロジェクト」	Project 3 スポーツの力で世界を勝ち抜く 「TOKYOの魅力向上プロジェクト」	Project 4 スポーツ施設を最大限活用する 「18 FACILITIESプロジェクト」 Project 5 スポーツを支える仕組みを創る 「支える担い手確保プロジェクト」
12の施策	施策① スポーツに触れる「はじめの一步」 を後押し	施策① パラスポーツを楽しむ・パラスポ ーツで輝く	施策① 都内各地でスポーツイベントを 開催し、都市に活力をプラス	施策① 様々な価値を創出するスポーツ環境 の整備や、環境に優れた大会運営
	施策② ライフステージに応じたスポーツを 推進	施策② バリアフリー化やユニバーサルコミュニ ケーション技術の社会実装を促進	施策② 住み慣れた地域でのスポーツを サポート	施策② 多様な主体と連携し、スポーツに 関わる人材の裾野を広げる・磨く
	施策③ 東京ゆかりのアスリートが躍動	施策③ 多様な人々がスポーツでつながる、 スポーツとつながる	施策③ スポーツの魅力を発信し、スポー ツを通じて感動を味わう	施策③ 安全・安心なスポーツ、信頼され るスポーツ大会の実現

健康・幸福

スポーツで 輝く

Project 1

スポーツとともに育つ「チルドレン・スポーツ・プロジェクト」

方向性

- ・子供たちがスポーツに触れ、親しむ時間・機会の創出
- ・幼児期の運動習慣形成や保護者向けの取組により、「スポーツ好き」を醸成
- ・学年進行とともに低下するスポーツ意欲の維持・向上や個々の特性・ニーズへ対応

施策①

スポーツに触れる「はじめての一步」を後押し

方向性 スポーツをすることへの関心喚起、スポーツを始める機会の提供・創出

施策②

ライフステージに応じたスポーツを推進

方向性 子供のスポーツ振興、働き盛り世代のスポーツ振興、高齢者のスポーツ振興

施策③

東京ゆかりのアスリートが躍動

方向性 アスリートの競技力向上に向けた取組

目指す
政策効果

- スポーツに親しむ機会が増え、あらゆる人にとってスポーツが身近なものになる
- 自らの状況・レベルに合ったスポーツを楽しみ、いつまでも健康で幸福に過ごすことができる

達成指標

スポーツを通じて幸福感を感じて
いる都民の割合 新

2024年度 ***% ➡ 2035年度 ***%

都民（18歳以上）のスポーツ
実施率

2023年度 66.3% ➡ 2035年度 70%以上

スポーツをすることを「好き」「やや好
き」と感じる中学2年生の割合 新

2023年度 男子:88.4% ➡ 2035年度 男子:90%以上
女子:77.3% ➡ 女子:85%

共生社会

スポーツで **つながる**

Project 2

多様性が輝く「スポーツ・ダイバーシティ・プロジェクト」

方向性

- ・障害特性等に応じた、より多様な場所や機会の提供
- ・ねりんピックの東京開催を契機としたシニアスポーツ振興
- ・女性のスポーツ振興

施策①

パラスポーツを楽しむ・パラスポーツで輝く

方向性

- パラスポーツの理解促進・普及啓発、場の充実、支える人材の確保、競技力向上

施策②

バリアフリー化やユニバーサルコミュニケーション技術の社会実装を促進

方向性

- 誰もが気軽に楽しめるユニバーサルデザイン志向のスポーツ環境整備、スポーツに関する技術開発・市場開拓への支援

施策③

多様な人々がスポーツでつながる、スポーツとつながる

方向性

- 性別、年齢などに関わらずそれぞれのレベルに応じたスポーツを楽しむ、スポーツを通じた被災地復興支援、スポーツを通じた国際交流

目指す
政策効果

- 最新の技術がスポーツを変革し、あらゆる人がスポーツを楽しめる環境を実現
- 障害の有無や性別等にかかわらず、人と人とのつながりが生まれ相互理解が進む

達成指標

障害のある都民（18歳以上）のスポーツ実施率

2023年度 46.3% ➡ 2035年度 50%以上

パラスポーツに関心がある都民の割合

2023年度 44.3% ➡ 2035年度 80%以上

スポーツを通じて生きがいを感じる高齢者の割合 新

2024年度 ***% ➡ 2035年度 ***%

20～40歳代女性（都民）のスポーツ実施率 拡

2023年度 56.9% ➡ 2035年度 65%

地域・経済活性化

スポーツで にぎわう

Project 3

スポーツの力で世界を勝ち抜く「TOKYOの魅力向上プロジェクト」

方向性

- ・都と関係団体の関係を強固にし、スポーツ大会の開催を支援
- ・国内競技団体等への誘致・開催支援や国際スポーツ関係者への情報発信により大会の誘致・開催につなげる

施策①

都内各地でスポーツイベントを開催し、都市に活力をプラス

方向性

- 世界陸上・デフリンピックに向けた取組、国際スポーツ大会に対する取組、ねりんピックの東京開催に向けた取組、東京を活性化させるスポーツイベント等の展開

施策②

住み慣れた地域でのスポーツをサポート

方向性

- 地域におけるスポーツ活動の推進、地域や経済の活性化に寄与した団体等の顕彰

施策③

スポーツの魅力を発信し、スポーツを通じて感動を味わう

方向性

- スポーツの魅力発信、スポーツをみる機会の創出

目指す
政策効果

- スポーツ大会の積極的な開催・支援を通じ、多くの人々が楽しみや感動を体験
- 世界中のアスリートや観客が訪れ、にぎわい、東京が世界で最も魅力的で選ばれる都市となる

達成指標

1年間にスポーツを直接観戦した
都民(18歳以上)の割合

2023年度 42.7% ➤ 2035年度 50%以上

1年間にスポーツイベント、大会に参加し
たことがある都民(18歳以上)の割合 新

2024年度 ***% ➤ 2035年度 ***%

好きなスポーツチームや選手がいる
都民(18歳以上)の割合(仮) 新

2024年度 ***% ➤ 2035年度 ***%

スポーツの持続可能性

スポーツを **支える**

Project 4
スポーツ施設を最大限活用する「18 FACILITIESプロジェクト」

- 方向性
- ・各施設の「強み」を生かした施設運営の推進
 - ・東京2020大会等で培ったノウハウを生かし、ハード・ソフト両面でバリアフリー化を促進

Project 5
スポーツを支える仕組みを創る「支える担い手確保プロジェクト」

- 方向性
- ・持続可能な地域のスポーツ振興を支援
 - ・スポーツ大会等を支えるボランティアなどの継続的な活動を後押し

施策①
様々な価値を創出するスポーツ環境の整備や、環境に優れた大会運営

- 方向性
- 都立スポーツ施設の持続可能な整備・運営、都内のスポーツ環境の整備、デジタル技術を活用した環境整備、環境に優れた大会運営

施策②
多様な主体と連携し、スポーツを支える人材の裾野を広げる・磨く

- 方向性
- スポーツを支える人材の確保・育成・活動支援、多様なスポーツを支える基盤づくり、地域におけるスポーツ活動の推進、官民連携によるスポーツ振興

施策③
安全・安心なスポーツ、信頼されるスポーツ大会の実現

- 方向性
- スポーツによる事故防止等の推進、暑さ対策、スポーツ・インテグリティの強化、大会及び団体のガバナンスの確保

目指す
政策効果

達成指標

- 地域等で**スポーツの担い手**が活躍し、**持続可能なスポーツの地盤**を構築
- **安全・安心・信頼**の下、いつまでも**スポーツを楽しめるサステナブルな社会**に貢献



達成指標一覧（案）

別紙10

	項目	現状	2030年度	2035年度
健康・幸福 スポーツで 輝く	スポーツを通じて幸福感を感じている都民の割合 新	2024年度 ***%	***%	***%
	都民（18歳以上）のスポーツ実施率	2023年度 66.3%	70%	70%以上
	スポーツをすることを「好き」「やや好き」と感じる中学2年生の割合 新	2023年度 男子:88.4% 女子:77.3%	男子:90% 女子:80%	男子:90%以上 女子:85%
共生社会 スポーツで つながる	障害のある都民（18歳以上）のスポーツ実施率	2023年度 46.3%	50%	50%以上
	パラスポーツに関心がある都民の割合	2023年度 44.3%	80%	80%以上
	スポーツを通じて生きがいを感じる高齢者の割合 新	2024年度 ***%	***%	***%
	20～40歳代女性（都民）のスポーツ実施率 拡	2023年度 56.9%	60%	65%
地域・経済活性化 スポーツで にぎわう	1年間にスポーツを直接観戦した都民（18歳以上）の割合	2023年度 42.7%	50%	50%以上
	1年間にスポーツイベント、大会に参加したことがある都民（18歳以上）の割合 新	***%	***%	***%
	好きなスポーツチームや選手がいる都民（18歳以上）の割合（仮） 新	***%	***%	***%
スポーツの持続可能性 スポーツを 支える	都立スポーツ施設への満足度（仮） 新	2024年度 ***%	***%	***%
	1年間にスポーツを支える活動を行った都民（18歳以上）の割合	2023年度 14.8%	20%	20%以上
	地域スポーツに関する指標（仮） 新	2024年度 ***	***	***

第4回審議会の振り返りについて

参考資料

パラスポーツの振興について

- アメリカでは、「障害者」ではなく「スペシャルニーズがある人」という扱いであり、子供の頃からそのような環境で育つことが、バリアがない社会につながる。
- どうしてもイベントのような単発ものが多く、どうやって事業をプログラム化するか、事業の中で障害のある方に目標をもって成長してもらうかが重要。
- 障害のある方の中には、スポーツを行う余裕までない方もいると思うが、スポーツは人々に様々な効果をもたらす。施設も活用しながら、障害のある方にもアプローチできるとよい。
- 障害者のハブ施設、サテライト施設、社会資源という3段階のネットワークが重要であり、役割分担が裾野を広げる。より浸透していくためには、体系化した仕組みが必要。
- スポーツ指導員は、確保も重要だがどう処遇するかも難しい。
- 障害特性は非常に多様であるため、福祉とスポーツの総合力が求められる。
- 今は「支える側」でもいつかは「支えられる側」になる。相互理解を深める取組が重要。

子供のスポーツ振興について

- スポーツに対する「やる気がない・恥ずかしい」という感情には、「できないこと」が起因しているのではないか。「できなかったことができるようになる」「達成感」を醸成するのが教育関係者の責務。
- 「できなかったことができるようになる」ことは、子供にとっても高齢者にとっても大きな喜びを感じる瞬間であり、子供の教育の中では、「比べない」と併せて重要なことである。
- 運動が苦手な理由として、他者との比較によるコンプレックスが考えられる。「子供の居場所」や「遊びスポーツ」といった間口の広い在り方を検討していくべき。
- 子供の遊び環境が少なく、特に都心部・住宅密集地では、近所からの騒音苦情により外で部活動ができないこともある。学校と周辺コミュニティにおける連携や関係性構築の仕組みが必要。
- 「疲れないスポーツ」も良いが、「疲れること」の効果もあるため、間口を広げつつ同時に進めたい。また、子供と親を同時にターゲットにした仕組みや機会があるとよい。
- 子供のスポーツ環境づくりは、教育庁だけではなく、生活文化スポーツ局、地域スポーツ全体を挙げて改革していかないと実現できない。

女性のスポーツ振興について

- 「女性」をあえてピックアップしなければならないということが現状の課題。フラットな社会の実現には、あと何が足りないのか。
- 女性のスポーツ実施率の低さには仕事や家事・育児の負担が要因と考えられるが、女性が働きやすい環境整備と併せて、職域でのスポーツ実施を推進することによって、女性の健康保持・増進ができる点にも着目する必要がある。
- 部活動について、共学と女子校では競技のレベルも種目も違う。女子校に入ってからスポーツが楽しくなるというケースもあり、やり方や一緒にやる人などの環境次第でスポーツに対する思いは大きく変わる。スポーツをする「機会」とスポーツから得られる「自信」が重要。

有明アーバンスポーツパークについて

参考資料

概要

- 運営形態 : PFI方式による整備運営 (**独立採算型**)
- 整備運営事業者 : Tokyo Sports Wellness Village 株式会社
代表企業 東京建物 (株)
参加企業 TSP太陽 (株)、(株) 日テレアックスオン
- 運営期間 : 2024年10月12日 (予定) から10年間

ネーミングライツ

- 通称名 : ライブドア アーバンスポーツパーク
(10月12日より) 【英文表記】 livedoor URBAN SPORTS PARK
- パートナー : 株式会社ミンカブ・ジ・インフォノイド
- 契約期間 : 5年間
- 契約金額 : 年額1億円・総額5億円 (消費税等別途)

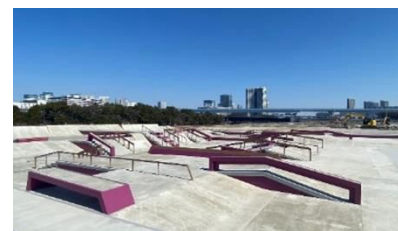
大会レガシーゾーン



ボルダリング棟



3 x 3 コート



スケートボード施設

多目的ゾーン



屋外アスレチック



ランニングスタジアム



大会レガシーゾーン

多目的ゾーン

TOKYO FORWARD 2025

東京2025 世界陸上

1 Year To Go!

2024年9月

東京ドームシティ ラクーア

入場無料

10:30→19:00 金 13日 • 10:00→19:00 土 14日

ラクーアに出現!? 世界陸上体感パーク!!

体験プログラムに参加してみよう!

事前申込が必要となります。詳しくは裏面をご覧ください。

14日

対象:5歳児~小学6年生 定員 各回25名

10:00~[2回実施]

講師:朝原宣治

陸上体験プログラム

「朝原“奥義”で逃げまくれ!

フィッシャーズと鬼ごっこ」

対象:

小学生

定員 各回20名

17:00~[2回実施]

講師:寺田明日香選手

陸上体験プログラム

「ハードルって何?

ハードルの魅力を

知ろう!」



事前申込やイベントの詳細はこちらから
※応募者多数の場合は抽選となります



ラクーアの様々な場所で

陸上アスリートのすごさを体感!

色々なゲストがステージに登場!



茂木健一郎

© Itaru Hiramatsu 2021



大家志津香



フィッシャーズ

お子さま縁日も開催!



WORLD ATHLETICS
CHAMPIONSHIPS
T O K Y O 2 5

TokyoTokyo

GEOGRAPHICAL HOST

楽しいコンテンツが盛りだくさんの2日間！

ラクアガーデンステージ イベント

※出演者、ゲストは変更または追加になる可能性があります。

DAY 1 9月13日(金) 10:30 → 19:00

10:40 **アスリートへの第一歩!?**
竹脇まりなと一緒にトレーニング！

事前申込

11:00 **東京2025世界陸上 1 Year To Go! セレモニー**
開催まであと1年の記念すべき日にリレーの佐藤拳太郎選手など豪華ゲストが出演し、大会への期待やみどころを紹介



© Fujitsu

12:30 **走るって楽しい! マラソントーク**
ゲスト: 金哲彦、竹脇まりな 他



13:30 **「TDKが世界陸上を応援するワケ? & サプライズ発表!」TDKステージ**

14:30 **アスリートを応援! 梅田和恵&小原春香スペシャルライブ**

あきたかずえ こはらはるか

18:00 **朝原×茂木の“走る脳科学”タラみトークショー**
ゲスト: 朝原宣治、茂木健一郎



© Itaru Hiramata 2021

DAY 2 9月14日(土) 10:00 → 19:00

10:00 **陸上体験プログラム**
『朝原“奥義”で逃げまくれ! フィッシャーズと鬼ごっこ』
講師: 朝原宣治 ゲスト: フィッシャーズ

事前申込

13:00 **世界陸上なんでもクイズショー**
ゲスト: 朝原宣治、金哲彦、フィッシャーズ、大家志津香



14:00 **東京2025世界陸上 ステージプログラム**

15:00 **「パラリンピアン木村敬一選手の新たな挑戦」東京ガスステージ** ゲスト: 木村敬一選手



16:00 **2025年に実施する「まつり」をテーマとした文化プログラムのプレイベント**

17:00 **陸上体験プログラム**
『ハードルって何? ハードルの魅力を知ろう!』
講師: 寺田明日香選手

事前申込

世界記録ビタ止め



ストップウォッチ対決 presented by セイコー

13・14日両日開催!

事前申込が必要なプログラム

アスリートへの第一歩!?
竹脇まりなと一緒にトレーニング!

日時 9月13日(金)
10:40~12:00

人数 40人

締切 9月1日(日)23:59まで



定員 各回25名 **陸上体験プログラム**
『朝原“奥義”で逃げまくれ! フィッシャーズと鬼ごっこ』

日時 9月14日(土)

対象

- ① 10:00~10:45 ① 5歳児~小学2年生
- ② 11:00~11:45 ② 小学3年~小学6年生

締切 9月1日(日)23:59まで

定員 各回20名 **陸上体験プログラム**
『ハードルって何? ハードルの魅力を知ろう!』

日時 9月14日(土)

対象

- ① 17:00~17:45 ① ②
- ② 18:00~18:45 小学生

締切 9月8日(日)23:59まで



講師: 寺田明日香選手

事前申込やイベントの詳細はこちらから
<https://www.tokyooforward2025.metro.tokyo.lg.jp>

※応募者多数の場合は抽選となります



当日体験ができるコンテンツ

本物の競技用具を触ってみよう! やりは重い? 軽い?

立ち幅跳びで参加者トップを決定!? 豪華ゲストの記録を超えられるか?

お子さまが立ち寄れる緑日ブースも開催! (無料) 水ヨーヨーや射的で楽しもう!

AR体験! スマホをかざすと目の前で世界記録が!

世界記録 9秒58

イメージ

スタンプラリー実施!

実際に動いて/見て/知って世界陸上やアスリートのすごさを体感! 会場内でスタンプを集めたら最後に記念品をゲットしよう!



アクセス / ACCESS

最寄り駅

- ① JR「水道橋駅」西口/徒歩約6分
- ② 都営地下鉄三田線「水道橋駅」A2出口/徒歩約3分
- ③ 東京メトロ丸ノ内線・南北線「後楽園駅」2番出口/徒歩約1分
- ④ 都営地下鉄大江戸線「春日駅」6番出口/徒歩約2分

〒112-0003 東京都文京区春日1丁目1-1

【ご来場時の注意事項】

当日はオフィシャルカメラマンによる撮影および報道各社による取材が入ります。撮影した写真や映像はホームページや広報物に使用される可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

きこえない・きこえにくいアスリートのための国際スポーツ大会
東京2025
デフリンピック

メダルデザイン 投票スタート

全国の小中高生のみなさまが対象です。

投票期間

2024年9月1日(日)
～10月14日(月)

つながる未来へ
選択しよう。



**私達にとって、デフリンピックは
世界最高峰の大会です。**

私は人生の半分を賭け、デフリンピックに挑んでおり、東京大会では必ず金メダルをとります！社会には多様な人達がいて、一人一人の違いを受け入れられることが1番大事です。大会が、障害の有無に関係なく誰もが幸せに生きられる社会の実現に繋がってほしいです。今回の投票を通じて、デフスポーツやデフリンピックを知り、友達と一緒にぜひ会場に応援に来てください。

卓球日本代表 亀澤 理穂 選手



**デフリンピックは、
私に夢を与えてくれました。**

きこえなくても世界を舞台にメダル獲得を目標に戦えることは、きこえない私達に大きな希望を与えてくれます。100周年となる東京大会に、多くの方々に会場にお越しいただき、選手達の熱心な競技を見て欲しいと思います。金メダル獲得を目指して頑張ります。手話がメインのため、掛け声などは聞こえないかもしれませんが、みんなの応援は力になります。ぜひ、応援をお願いいたします。

バレーボール日本代表 平岡 早百合 選手



**私達にとって、
デフリンピックは、夢の舞台です。**

国際大会で、日の丸を背負うことはなかなか経験できるものではありません。母国で開催される東京2025デフリンピックでは、これまで見たことのない新しい景色創っていききたいです。また、東京大会は、デフリンピックが始まってから100周年を記念するものでもあります。単なる大会で終わるべきではなく、この機会に、聴覚障がい者への理解を促進するとともに、新しい共生社会づくりを加速化させ、今後の未来を大きく変えていければと思います。

サッカー 古島 啓太 選手(ポジション:FW・MF)



メダルの投票はWEBへ！



deaflympics2025-games.jp/main-info/medal



これは音声コード(Uni-Voice)です



デフリンピックとは

デフ+オリンピックのこと。デフ(Deaf)とは、英語で「耳がきこえない」という意味で、本大会は国際的(こくさいてき)な「きこえない、きこえにくい人の国際スポーツ大会」です。オリンピックと同じように4年に1度、夏季大会と冬季大会がそれぞれ開かれます。ルールはオリンピックとほぼ同じですが、耳のきこえない人のために様々な工夫がされています。1924年のパリ大会が第1回大会で、今回の東京大会は100周年という非常(ひじょう)にメモリアルな大会です。

Medal Design あなたの選択が大会の未来をつくります。

A ミライへの懸け橋



大会が未来へのかけ橋となることを願ったデザイン

- おもて 江戸のシンボルだった日本橋を描いています。東京日本橋から、大会が未来へのかけ橋になることを表しています。
- うら 大きな桜の模様で、大会が様々な人が集まり、大きな感動を生み出す場になることを表しています。
- リボン 空をイメージした「琉璃色(るいりう)」です。どこまでも続く空のように、広がる未来を表しています。「菊葉き紋(きくつなぎもん)」という日本の伝統的な模様を使ったデザインです。

B 未来へ花咲くサクラ



選手の活躍が花開き、スターが誕生することを願ったデザイン

- おもて 星のような形をした桜は、スター(メダリスト)が誕生することを表しています。
- うら 河津桜(かわづざくら)と枝垂桜(しだれざくら)を描き、さまざまな種類の桜があること、一人一人の違いを受け入れる社会を表しています。
- リボン 大会カラーの「桜色」と桜の模様を使ったデザインです。桜が花開き、希望が広がる様子を表しています。

C みんなで羽ばたく



選手が活躍し、大きく羽ばたいていくことを願ったデザイン

- おもて 折り紙で作った鶴(つる)を描いています。選手たちが大きく羽ばたき、活躍(かつやく)することを願ったデザインです。縁起が良いとされている日本の伝統的な模様を使っています。
- うら いくつもの線がまじりあうデザインで、世界の人のつながりを表しています。
- リボン 「藍鉄色(あいてついろ)」という緑色を含んだ濃(こい)青色で、江戸時代の人々が好んでいた色を使いました。日本の伝統的な模様を組み合わせたデザインです。



お問い合わせ

公益財団法人東京都スポーツ文化事業団
デフリンピック準備運営本部 プロトコール部 プロトコールグループ
〒135-0064 東京都江東区青海2-4-24 青海フロンティアビル14階
☎03-6380-7874 ✉protocol@deaf2025.jp

スポーツくじ

